

ノ如キハ農商務省當局ニ於テ現ニ獎勵金ヲ投シ之カ保護ヲ爲セルモノニ屬ス鮭、鱒ノ如キハ外國
産ニ對スル競争上ニ於テ鱒、鯨、鰻、鮠ノ如キハ遠洋漁業ノ獎勵上ニ於テ各々其ノ使用鹽ヲ低價ナラ
シムルノ必要アリ依テ特別定價賣渡ヲ爲スト共ニ一般定價鹽ヲ使用シタルモノニ在リテハ相當
交付金ヲ下付スルコトト爲シタリ鹽水漬、鹽漬、鹽及鹽水漬、鯖ニ在リテハ其ノ産豐富ニシテ海外
販路ニ於テ頗ル有望ナルモノアルニ依リ之カ輸出獎勵ヲ爲スノ要アリ然レトモ内地需要トシテ
ハ別ニ之ヲ保護スルノ必要ナキヲ以テ之カ使用鹽ニ對シ特別定價賣渡ヲ爲サス唯輸出シタルモ
ノニ付テノミ交付金ヲ下付スルコトト爲シタリ

漁業用鹽ニ對スル取扱方ノ決定ハ此等漁業者ノ事業ニ影響スヘク帝國議會ニ於テモ特別取扱ノ
要求ヲ爲セルアリ殊ニ北海道ニ於ケル漁業者ハ直接蒙ルヘキ關係甚大ナルヲ以テ函館商業會議
所、竝根室、花咲、小樽、古平、標津、外二郡及余市郡等ノ各水産組合、竝千島漁業者等ヨリ陳情書ヲ提出シ
鹹魚ニ使用スル鹽ニ對シテハ遠洋漁業ニ使用スル鹽ニ對シ特別低價賣下ヲ爲スト同一ノ取扱ヲ
希望シ特ニ保護ヲ受クルニ非サレハ畜ニ漁業者ノ損失ヲ免レサルノミナラス北海道ニ於ケル主
要漁業ノ衰廢ヲ來スヘキ旨ヲ述ヘ特別取扱ノ請願ヲ爲シタリ北海道廳長官ハ小樽商業會議所及
根室外二郡水産組合、増毛水産組合、留萌村及三泊村水産組合、天賣、燒尻水産組合等ヨリ北海道ニ於
ケル鹹魚用鹽ニ對シテハ特別取扱ヲ以テ低價賣渡ノ恩惠ニ浴シタキ趣旨ノ陳情書ヲ進達シ左ノ
上申ヲ爲シタリ

北海道長官上申水第二五號（明治三十八年二月一日）

今般法律第十一號ヲ以テ鹽專賣法公布セラレ候ニ就テハ其ノ第十九條ニ依リ特別ノ取扱ヲ受ケサル限リ本道漁業者ハ其ノ收穫物鹽藏ニ要スル食鹽ニ對シ
高貴ノ代價ヲ支拂ハサルヘカラサルコトト相成候處斯クテハ輾近漸ク改善進歩ノ緒ニ就ケル水産事業ノ前途ヲ晦澁ナラシメ延テ本道拓殖ノ進運ヲ阻碍ス
ルニ至ルモノト認メラレ候間追テ同法第十九條ニ依リ發セラレヘキ命令中ニハ本道漁業用鹽ヲモ指定相成候様致度小樽商業會議所其ノ他陳情書進達旁左
記調書相添此段上申候也

本道幾多ノ産業中既往ハ勿論現在ニ於テ最重要ノ位置ヲ占ムルモノハ水産ニシテ其ノ盛衰ハ直ニ本道經濟界ニ消長ヲ及ボス輾近農工其ノ他ノ事業漸ク發

達シテ逐年其ノ收得ヲ増シ自然經濟界ニ重キヲ致スニ至ルヘキハ疑ヲ容レズト雖水産ノ利源ハ廣漠無邊ノ水界ニ在ルヲ以テ方法宜シキヲ得ハ擴張ノ範圍ハ頗ル廣大ニシテ特ニ水道ノ沿海ハ暖寒ニ流ノ衝ニ當リ魚族ノ豐富勝テ量ルヘカラス其ノ既ニ開ケタルモノハ其ノ將來開發ノ見込アルモノ亦極メテ多シ左レハ水道拓殖ノ上ヨリ看テ單ニ現在ノ水産ヲ保護スルニ止マラス更ニ獎勵ヲ加ヘテ其ノ發展ヲ期スルノ必要アルハ論ヲ俟タズ然ルニ水道ハ邦ノ北僻ニ位シ交通不便ノ人口稀少ノ漁獲物ヲ市場ニ輸シ販銷スルコト容易ナラサルモノアリ是ヲ以テ沿海魚族ノ豐富ナルニ比シ漁業發達セスレ現時獎勵ノ手段トシテ一方ニ新漁業ノ創始ヲ促スト同時ニ他方ニ於テ漁獲物ノ製法ヲ講究シ其ノ漁利ヲ多カラシムコトヲ努ムル所以ナリ而シテ製造ノ方法一ナラスト雖其ノ簡易ニシテ廣ク行ハルルハ乾製及鹽藏ナリ就中現今專ラ行ハルル肥料榨粕ハ利益最モ薄ク特ニ大豆粕其ノ他ノ肥料カ漸ク勢力ヲ増サムトスル時代ニ於テハ將來榨粕ヲ廢シテ鹽藏ヲ勸奨セサルヘカラス之ヲ要スルニ水道ニ在テハ漁業ニハ必ス製造ヲ伴ヒ製造ニハ食鹽ノ必要アリト論斷スルヲ得

若シ夫レ今後食鹽ニ高價ヲ拂ハサルヘカラストスレハ水産獎勵上至大ノ困難ヲ來スヘク極言スレハ水産ノ發達ハ爲ニ一頓挫ヲ招クニ至ラム之レ本道拓殖上輕視スヘカラサル問題ナレハ特ニ高察ヲ仰カムコトヲ希望スル所ナリ尙各水産物中其ノ影響ノ重大ナルモノニ二三付左ニ細說セムトス

一 鮭鱈 鮭鱈ハ比年大ニ其ノ漁獲ヲ減シ之ヲ挽回スルノ途ハ一ニ人工学化ヲ盛ナラシムルニ在ルハ既ニ世ノ定論タリ當廳多年力ヲ此ニ致スモ其ノ設備未タ豫定ノ數ニ達セサルヲ以テ效果ノ顯著ナルニ至ラス從テ同漁業ハ或ル一部ヲ除キテハ收支相償ハサル現況ナリ且漁場ハ市場ニ遠キカ爲メ其ノ大部分ハ尙鹽藏ト爲ササルヘカラストルヲ以テ鹽價ノ騰貴ハ彼等漁業者ノ一大痛苦タルヲ免レス或ハ鹽價騰貴ノ結果ハ延テ製品ノ價格ヲ昂ムルヲ以テ畢竟消費者ノ負擔ニ歸シ漁業者ハ何等ノ影響ヲ受ケルヘシトノ想像說ナキニ非スト雖價格ヲ昂ムレハ諸他ノ食料品トノ比較ヲ失シ販路ノ滯留ヲ來スヘク且輸入外國品ト競争スルノ必要アルヲ以テ價格引上ハ自ラ程度アリ結局鹽價騰貴ハ漁業者ノ損失ニ歸スルモノト見サルヘカラス

二 練 從來練ノ大部分ハ榨粕ニ製造セシカ大豆粕ナル一大勁敵漸ク勢力ヲ得人造肥料ノ製産年ニ加ハリ之カ爲メニ榨粕ノ市價ハ左右セラルルヲ免レス若シ滿洲ニシテ一旦我勢力範圍ニ歸セハ大豆粕ノ輸入ハ更ニ一層ノ多キヲ加フヘキヲ以テ本道最多ノ水産物タル練ハ將來其ノ製法ヲ變シテ食料品トナササルヘカラストルノ運命ニ逢著セリ其ノ最モ容易ニシテ販路ノ見込アルモノヲ鹽藏トス其ノ期節ハ春晩初夏ノ交ニシテ比較的多量ノ鹽ヲ要シ一尾ノ價格僅ニ五六厘ニ過キスシテ鹽量約三十匁ヲ使用セサルヘカラストル計算ナリ今ヤ練製造法ニ一大革新ヲ加ヘムコトヲ獎勵スルニ際シ之カ材料タル鹽ノ價格騰貴ヲ見ル本道ノ漁政上大打擊ニ非スト云フヲ得ムヤ

三 鱈 鱈ハ本道沖合漁業中最モ發達シタルモノニシテ將來尙進歩ノ見込多キモノニ屬ス開ク所ニ依レハ遠洋漁業用鹽ニ對シテハ特別取扱ノ規定ヲ設ケラルヘシト之レ蓋シ獎勵ノ主旨ニ出ツ本道現今ノ鱈漁業ハ所謂遠洋漁業トハ其ノ規模ノ大小固ヨリ同日ノ論ニ非スト雖沿岸漁業ノ利漸ク減耗セル今日ニ於テ沖合漁業ノ發達ヲ促スハ必要ノ事ニ屬ス而シテ鱈漁業ノ獎勵ハ又製造ノ改良ヲモ獎勵セサルヘカラストル即チ在來ノ棒鱈製造ニミ安スヘカラストシテ隨時隨所ニ於テ製造シ得ヘキ鹽藏品ヲ製セシムルヲ要ス鹽價ノ騰貴ハ其ノ發達ニ影響ヲ及ボスコト大ナリ

四 大群 大群ハ今日マテ榨粕ト爲スノ外未タ適當ノ製法ヲ發見セサルヲ以テ其ノ漁業ノ發達遲々タリト雖魚群ノ豐富ナル漁場ノ廣濶ナル鱈ニ比シテ遜色ナシ將來大ニ其ノ發達ヲ獎勵セムト欲スルモノ之ヲ榨粕ニノミ委スルヲ得サルヲ以テ鹽藏シテ市場ニ輸スノ方法ヲ講セサルヘカラストル是又鹽價騰貴ニ依リ困難ヲ來スハ明ナリ

以上ハ鹽價ノ騰貴カ本道水産ニ及ボス影響ノ一端ニ過キサルモノ其ノ他ハ之ニ依テ推斷スルニ足ル若シ特別取扱ノ恩典ニ浴スルヲ得サラムカ爲メニ斯業ノ前途ハ頗ル懸念ニ堪ヘサルモノアリトス

或ハ漁業用鹽ニ付特別取扱ヲ爲サムカ名ヲ藉リ濫ニ他用ニ供シ爲メニ專賣法ノ目的ヲ達シ難キニ至ラムトノ虞アルニ似タリト雖本道ノ如ク水産物ニ對シ重稅ヲ課スル地方ニ於テハ之レカ取締法決シテ難事ニ非ス即チ水産稅馬吏員ハ收獲物ノ調査ヲ爲スヲ以テ之ニ據リ食鹽需用ノ數量ヲ概算セハ蓋シ大差ナ

キヲ得ルニ庶幾シ若シ尙法網ヲ濬ルヲ憂ヘムカ行政官廳ニ於テ製造場ヲ指定認可スルノ道ニ出テナハ監督ノ方法モ亦至難ニ非サルヘシ
 既往三箇年ニ於ケル鹽鹺品ノ統計ハ左記ノ如ク之ニ依リ需用ノ鹽量ヲ概算スレハ鹽鮭三萬石ニ對スル用鹽二萬二千五百石、鹽鱒二萬石ニ對スル用鹽二萬石其ノ他用鹽約二萬石即チ一箇年約六七萬石ノ食鹽ヲ要ス專賣法ニ依リ加算金一石二圓五十錢ヲ乘スレハ十五六萬圓ナリ國庫ノ收入ヨリスレハ少額ナリト雖鮭ニ在テハ價格ノ一割、鱒ニ在テハ三割ノ負擔ヲ増加スル割合ニシテ本道漁業家ノ蒙ムル影響ハ甚大ナリ水産組合、商業會議所カ本道漁業用鹽ニ對シ特別取扱ヲ希望スル所以實ニ之カ爲ナリトス

| 種類 | 明治三十四年 | 同三十五年 | 同三十六年 | 種類 | 明治三十四年 | 同三十五年 | 同三十六年 |
|----|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|--------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 鹽鮭 | 二六、二六九石 五、二九八石 一四、二七〇 | 四〇、二六五石 二、二六〇石 一、一七〇石 | 三二、二八石 五、二八石 一、一七〇石 | 開鮭 | 一九、五三四石 一、四五八石 三、五二一 | 三、一八三石 一、六四六石 一、八三〇 | 一、六四六石 一、三六四石 三、六〇〇 |
| 鹽鱒 | 二四、五七四 一、四二七 | 一、一〇〇石 一、一七〇石 一、一七〇石 | 二、二八二石 一、一七〇石 一、一七〇石 | 鹽子 | 二、五〇七石 四、〇〇七石 二、二八二石 | 六、六五二石 一、四八四石 二、五〇七石 | 二、二八二石 二、二八二石 二、二八二石 |
| 鹽鱒 | 六、二四〇石 六、一六四石 一、〇七六石 | 四、五〇〇石 六、七五五石 一、〇七六石 | 七、七六八石 七、七六八石 一、〇七六石 | 其 他 | 一、一〇〇石 一、一〇〇石 一、一〇〇石 | 一、一〇〇石 一、一〇〇石 一、一〇〇石 | 一、一〇〇石 一、一〇〇石 一、一〇〇石 |
| 鹽鱒 | 一、五〇〇石 一、四〇〇石 二、九二五石 | 一、四〇〇石 二、九二五石 一、七五〇石 | 一、四〇〇石 二、九二五石 一、七五〇石 | 雲 丹 | 二、九〇九石 二、五八四石 二、三二八石 | 二、九〇九石 二、五八四石 二、三二八石 | 二、九〇九石 二、五八四石 二、三二八石 |
| 燻製 | 四、〇〇〇石 二、九二五石 二、九二五石 | 四、〇〇〇石 二、九二五石 二、九二五石 | 四、〇〇〇石 二、九二五石 二、九二五石 | 燻製鱒 | 一、五〇〇石 一、五〇〇石 一、五〇〇石 | 一、五〇〇石 一、五〇〇石 一、五〇〇石 | 一、五〇〇石 一、五〇〇石 一、五〇〇石 |
| 鮭筋 | 三、七、三三三石 三、七、三三三石 三、七、三三三石 | 三、七、三三三石 三、七、三三三石 三、七、三三三石 | 三、七、三三三石 三、七、三三三石 三、七、三三三石 | | | | |

其ノ他増毛水産組合長ハ北海道ニ於ケル練鮭、鱒及鱈等ノ水産物ハ北海道水産ノ主要品ニシテ又
 全國水産ノ重要品ナリ而シテ之ニ使用スル鹽ノ量ハ頗ル多シ然ルニ鹽專賣法施行ノ結果同法第
 十九條第一項ノ適用ヲ受ケサルニ至ラムカ漸ク發展ニ向ハムトスル此等水産業ハ忽ニシテ其ノ
 根柢ヲ破壊スルニ至ルヘキヲ以テ北海道ニ於ケル漁業用鹽ハ專賣法第十九條第二號ノ指定用途
 中ニ加ヘラレタシトノ請願書ヲ第二十一帝國議會貴族院ニ提出シタルニ貴族院ハ之ニ對シ願意
 ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決シ同院ヨリ該請願書ノ送付アリタリ千島國漁業者ヨリハ擇捉島
 及其ノ以北ノ千島群島ニ於ケル漁業用鹽ハ主ニ鮭、鱒等ノ鹹魚ニ使用スルモノニシテ鹽專賣トハ
 緊切ナル關係ヲ有シ若シ同法上特別ノ取扱ヲ受クルニ非サレハ管ニ漁業者ノ打撃ヲ蒙ムルノミ
 ナラス米國産鹹魚ノ爲ニ迫害サレ一國ノ主要産業ニ影響スヘキヲ以テ該島地方ニテ漁業ニ使用
 スル鹽ニ對シテハ特別取扱ヲ受ケタシトノ請願書ヲ同期議會衆議院ニ提出シタルニ是亦同院ヨ

第二章 專賣法ノ制定

リ參考トシテ送付アリタリ

農商務省鑛山局ヨリハ鹽ハ各鑛山ニ於テ製鍊材料ニ供スヘキ必需品ニシテ主トシテ金銀製鍊上
 缺クヘカラサル材料ナルヲ以テ鹽專賣法第十九條第二號ノ命令ヲ以テ指定スヘキ用途中ニ鑛業
 用ヲモ加ヘラレタキ旨照會アリタリ其ノ他番醬油又ハ味噌ノ釀造ニ使用スル鹽ニ關シ静岡縣醬
 油同業組合ハ番醬油ニ使用スル鹽ニ對シテモ醬油又ハ溜釀造ニ使用スル鹽ト同シク特別定價ヲ
 以テ取扱ハレタシトノ旨ヲ以テ請願書ヲ提出シ愛知、三重、岐阜ノ三縣味噌溜製造業者ハ溜醬油ハ
 一定ノ釀造期ナク全年引續釀造スルヲ以テ其ノ使用鹽ニ對シ特別定價賣渡請求ノ爲メ提供スヘ
 キ擔保ハ其ノ解除ヲ受クルノ機ナキ狀態トナリ普通醬油釀造業者ニ比シ甚シキ不利ヲ被ムルヘ
 ク且溜醬油釀造ヨリ生スル味噌ノ數量ハ自ラ一定セルヲ以テ溜醬油釀造ニ關シテ擔保ヲ徵スル
 ノ必要ナカルヘキヲ以テ普通醬油ト同シク擔保ヲ徵セスシテ特別定價賣渡ヲ受クルコトニ決定
 セラレタシトノ請願書ヲ提出シ又同縣下醬油釀造業者ハ食用味噌ハ溜ヲ分離シタル粕ヲ以テ之
 ニ充用スルモノ多ク其ノ溜ヨリ分離シタル粕ニ依リテ得タル味噌ハ單純ニ味噌トシテ製造スル
 モノト同シカラサルヲ以テ醬油製成ノ際食用味噌ヲ得ルト否トニ關セス特別定價ヲ以テ賣渡サ
 レタシトノ陳情ヲ爲セリ

右ハ諸般ノ實狀ニ照シ詳細調査ノ末特別定價賣渡及交付金下付ニ關シ左ノ規定ヲ公布シタリ
 勅令第五百五十七號（明治三十八年五月八日）

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則

第一條 鹽專賣法第十九條第一項第二號ニ依リ特別定價ヲ以テ賣渡スコトヲ得ル鹽ハ左ノ用
 途ニ使用スルモノニ限ル

一 醬油釀造用但シ普通醬油ノ番醬油及自家用醬油釀造ニ使用スルモノヲ除ク

二 曹達、硫酸曹達、晒粉、石鹼製造用

三 肥料用

四 獸皮保存用

五 鑛業用

六 鮭、鱒、鱈、鯡、臘、豚獸鹽藏用

第二條 外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第一號若ハ第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ請求スルコトヲ得ル者ハ輸出者醬油釀造者又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル者ニ限ル

第三條 外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ハ鹽ノ數量、等級、輸出港及輸出先ヲ記載シタル賣渡請求書ヲ鹽務局ニ提出スヘシ

第四條 第一條第一號乃至第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ハ鹽ノ數量、等級、用途及使用場所ニ記載シタル賣渡請求書ヲ鹽務局ニ提出スヘシ但シ醬油釀造ニ使用セムトスル場合ニ在リテハ普通醬油又ハ溜醬油釀造用ノ區別、第一條第六號ノ用途ニ使用セムトスル鹽ヲ以テ帝國外ニ於テ鹽藏セムトスル場合ニ在リテハ出漁船名及出港地名ヲモ記載スヘシ

第五條 溜醬油釀造又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ賣渡請求者ハ百斤ニ付金一圓三十錢ノ割合ニ依リ擔保ヲ提供スヘシ

前項ニ依リ提供スヘキ擔保物ハ金錢又ハ鹽務局長ノ確實ト認メタル有價證券ニ限ル
擔保ヲ提供セムトスル者ハ前項ノ擔保物ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ鹽務局ニ提出スヘシ

第六條 特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ニシテ第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用セラルル

モノニ付テハ鹽務局ハ其ノ用途ニ從ヒ買受人ノ費用ヲ以テ鹽ノ重量百ニ對シ左ノ割合以上

左記物品ノ一ヲ混和シ鹽ノ變性ヲ施スヘシ

一 曹達又ハ硫酸曹達製造用

二 酸性硫酸曹達

三 苛性曹達

四 發煙鹽酸

五 純硫酸

六 晒粉製造用

七 純硫酸

八 滿俺礦

九 石鹼製造用

十 石油

十一 的列竝油

十二 石鹼粉末

十三 椰子油

十四 無水炭酸曹達

十五 肥料用

十六 煤

十七 木炭粉末

十八

五 獸皮保存用

石油

〇、三

石鹼粉末

一、五

硫酸鐵

四

木炭粉末

二、五

酸化鐵

〇、三

煤

二、五

六 鑛業用

木炭粉末

二、五

石油

〇、三

石炭粉末

二、五

褐炭粉末

二、五

煤

二

第七條

第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用スル爲變性ヲ施シタル鹽ヲ除クノ外特別定價

ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ運搬シ又ハ貯藏スルトキハ其ノ他ノ鹽ト之ヲ區別スヘシ

前項ノ場合ニ於テ必要ト認メタルトキハ當該官吏ハ其ノ鹽ニ封印ヲ施シ又ハ之ヲ護送スル

コトアルヘシ

第八條

特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者賣渡請求書ニ記載シタル用途ヲ變更セムトス

ルトキハ其ノ事由ヲ具シ賣渡鹽務局ニ變更ノ許可ヲ出願スヘシ

外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第一號若ハ第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ

受ケタル鹽ヲ第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用スルノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テハ第六條ノ規定ヲ準用ス

第九條 特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ヲ外國輸出及第一條ノ用途以外ニ使用スルコトヲ許可スルトキハ鹽務局ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ特別定價ト一般定價トノ差額ヲ追徴ス

外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ヲ第一條ノ用途ニ使用スルコトヲ許可スルトキハ鹽務局ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ各特別定價ノ差額ヲ追徴ス

第十條 特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者賣渡請求書ニ記載シタル輸出港、輸出先、使用場所、出漁船名又ハ出港地名ヲ變更セムトスルトキハ賣渡鹽務局ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ

第十一條 外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ外國ニ輸出セムトスルトキハ其ノ輸出申告書ニ少クトモ鹽ノ數量、輸出先、積載スヘキ船舶名及其ノ内國寄港地ヲ記載スヘシ

前項ノ申告アリタルトキハ稅關ハ鹽ノ數量ヲ檢定スヘシ

第十二條 第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ其ノ用途ニ使用セムトスルトキハ其ノ數量、使用ノ場所及日時ヲ定メ使用地所轄稅務署ニ使用ノ承認ヲ申請シ使用濟證明書ノ交付ヲ受クヘシ

前項ノ承認ヲ受ケタル者溜醬油ヲ釀造シタル場合ニ於テ所轄稅務署カ醬油ノ査定ヲ爲スニ當リ殘存スル味噌アルトキハ其ノ數量ヲ査定スヘシ

前項ノ場合ニ於テ賣渡鹽務局ハ殘存味噌百斤ニ付金十一錢五厘ノ割合ノ金額ヲ溜醬油釀造者ヨリ追徴ス

第十三條 第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者漁獲物ヲ

鹽藏シタルトキハ漁獲物ノ數量漁獲及鹽藏ノ場所竝漁獲物ノ移出先ヲ記載シタル申請書ヲ鹽藏地所轄鹽務局ニ提出シ鹽藏物ノ検査ヲ經テ鹽使用濟證明書ノ交付ヲ受クヘシ但シ帝國外ニ於テ鹽藏シタルトキハ歸港ノ際其ノ申請書ヲ出港地所轄鹽務局ニ提出スヘシ前項ニ依ル鹽藏物ノ検査ハ鹽務局所在地又ハ鹽務局ノ指定シタル地ニ於テ之ヲ行フ鹽務局ノ證明スル鹽使用濟數量ハ鹽藏物ノ重量百ニ對シ左ノ割合ヲ以テ之ヲ計算ス

鮭

六十五

鱒

七十五

鱒

四十

鯨

四十

臘豚獸

五十

第十四條 外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ賣渡ノ日ヨリ六箇月以

内ニ左ノ書類ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ

一 輸出免狀又ハ外國ニ輸出シタルコトヲ證明スヘキ書類

二 外國ニ陸揚シタルコトヲ證明スヘキ書類

第十五條 第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ賣渡ノ

日ヨリ一箇年以内ニ稅務署ノ交付シタル鹽使用濟證明書ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ賣渡ノ日ヨリ一箇年以内ニ鹽全部ノ使用濟證明書ヲ提出スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ未使用鹽ニ付稅務署ノ承認ヲ申請シ其ノ證明書ノ交付ヲ受ケ之ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ此ノ場合ニ於テハ承認ヲ受ケタル未使用鹽ニ關シ其ノ承認ヲ受ケタル日ヨリ一箇年以内ニ鹽使用濟證明書ヲ提出スヘシ

第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ賣渡ノ日ヨリ一箇年以内ニ鹽務局ノ交付シタル鹽使用濟證明書ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ其ノ賣渡ノ前項ノ場合ニ於テ使用シタル鹽ノ數量カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ對シ不足シタルコトヲ認メタルトキハ賣渡鹽務局ハ其ノ不足額ニ對シ百斤ニ付金一圓三十錢ノ割合ノ金額ヲ賣渡請求者ヨリ追徴ス

第十六條 特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ特別定價ト

一 一般定價トノ差額及其ノ十分ノ一ニ相當スル金額ヲ追徴ス

一 外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第一號若ハ第六號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ他ニ讓渡シタルトキ

二 許可ヲ受ケスシテ賣渡請求書ニ記載シタル用途ヲ變更シタルトキ

三 第十一條ノ輸出申告書ニ記載シタル寄港地以外ノ内國沿岸ニ寄港シタルトキ但シ海難其ノ他已ムヲ得サル事故アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

四 第十四條又ハ第十五條ニ依リ提出スヘキ書類ヲ提出セサルトキ

外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第一號若ハ第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル者ノ其ノ目的ニ供シタル鹽ノ數量カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ對シ不足シタル場合ニ於テ正當ノ事由ナシト認メタルトキハ鹽務局ハ其ノ不足額ニ對シ前項ノ金額ヲ追徴スルコトヲ得但シ第十五條第二項ニ依リ承認ヲ受ケタル未使用鹽ハ其ノ不足額ニ算入セス

第十七條 第九條第十二條第十五條及前條ノ追徴金ニ關シテハ國稅徵收法及國稅徵收法施行規則ノ規定ヲ準用ス

第十八條 第五條ニ依リ提供シタル擔保ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ解除ス

一 其ノ鹽ヲ以テ釀造シタル醬油全部ニ付査定ヲ受ケ殘存味噌ナキトキ又ハ殘存味噌ニ對スル追徴金ヲ納付シタルトキ

二 其ノ鹽ノ全部ヲ漁獲物鹽藏用ニ供シタルコトヲ證明セラレタルトキ又ハ其ノ不足額ニ對スル追徴金ヲ納付シタルトキ

第十九條 一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ左ノ目的ニ供シタル者ハ左ノ割合ヲ以テ交付金ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

一 外國ニ輸出シタルトキ
鹽 百斤ニ付金一圓四十八錢

二 其ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル鯨又ハ鯨ヲ輸出シタルトキ
鹽水漬鯨 百斤ニ付金七十四錢
鹽水漬鯨 百斤ニ付金五十一錢

鹽水漬鯖 百斤ニ付金七十四錢

三 第一條第一號乃至第五號ノ用途ニ使用シタルトキ
生引溜醬油釀造用以外ノ用途
鹽 百斤ニ付金一圓三十錢

生引溜醬油釀造用

四 第一條第六號ノ用途ニ使用シタルトキ
生引溜 一石ニ付金七十三錢
鹽鮭 百斤ニ付金八十四錢
鹽鱒 百斤ニ付金九十七錢

第二章 專賣法ノ制定

鹽鱈 百斤ニ付金五十二錢

鹽鯨 百斤ニ付金五十二錢

鹽漬臘豚獸 百斤ニ付金六十五錢

第二十條 前條第一號又ハ第二號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ之ヲ輸出港稅關ニ提出スヘシ

一 輸出免狀又ハ外國ニ輸出シタルコトヲ證明スヘキ書類

二 外國ニ陸揚シタルコトヲ證明スヘキ書類

第二十一條 第十九條第一號又ハ第二號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ其ノ輸出申告書ニ少クトモ鹽又ハ鹽藏魚類ノ數量、輸出先、積載スヘキ船舶名及其ノ内國寄港地ヲ記載スヘシ

前項ノ申告アリタルトキハ稅關ハ鹽又ハ鹽藏魚類ノ數量ヲ檢定スヘシ

第二十二條 第十九條第三號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ申請書ニ溜醬油釀造用以外ノ用途ニ使用スル場合ニ於テハ鹽使用證明書ヲ溜醬油釀造ニ使用スル場合ニ於テハ鹽使用證明書及醬油查定證明書ヲ添附シ之ヲ使用地所轄鹽務局ニ提出スヘシ

第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ鹽變性證明書ヲ以テ前項ノ鹽使用證明書ニ代フルコトヲ得

第二十三條 前條ノ鹽使用證明書又ハ醬油查定證明書ノ交付ヲ請求セムトスル者ハ鹽使用又ハ醬油查定ノ際申請書ヲ使用地所轄鹽務局又ハ稅務署ニ提出スヘシ

前條ノ鹽變性證明書ノ交付ヲ請求セムトスル者ハ鹽使用前申請書ヲ所轄鹽務局ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ鹽務局ハ第六條ニ準シ鹽ノ變性ヲ施スヘシ

第二十四條 帝國內又ハ帝國沿海ニ於テ漁獲ヲ爲ス者第十九條第四號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスルトキハ漁獲物ノ數量、漁獲及鹽藏ノ場所竝漁獲物ノ移出先ヲ記載シタル申請書ヲ鹽藏地所轄鹽務局ニ提出シ鹽藏物ノ検査ヲ受クヘシ

前項ニ依ル鹽藏物ノ検査ハ鹽務局所在地又ハ鹽務局ノ指定シタル地ニ於テ之ヲ行フ

第二十五條 遠洋又ハ外國若ハ外國ノ沿海ニ於テ漁獲ヲ爲ス者第十九條第四號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスルトキハ出漁前其ノ船舶名、寄港地、出漁先及積載鹽ノ數量ヲ記載シタル申告書ヲ出港地所轄鹽務局ニ提出シ積載鹽ノ検査ヲ受クヘシ

前項ニ依リ申告ヲ爲シタル者歸港シタルトキハ申告書ヲ提出シタル鹽務局所在地又ハ其ノ鹽務局ノ指定シタル地ニ到リ前條第一項ニ準シタル申請書ヲ提出シ漁獲物及殘存鹽ノ検査ヲ受クヘシ

第二十六條 帝國內ヨリ出港シ帝國內他ノ場所又ハ其ノ沿海ニ於テ漁獲ヲ爲ス者出港地所轄ノ鹽務局ニ申出其ノ許可ヲ受ケタルトキハ交付金下付ノ出願ニ付前條ノ規定ニ依ルコトヲ得

第二十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ交付金ノ下付ヲ請求スルコトヲ得ス

- 一 外國ニ輸出シタル鹽又ハ鹽藏魚類ニ付テハ輸出後溜醬油釀造用ヲ除クノ外第一條各號ノ用途ニ使用シタル鹽ニ付テハ使用後溜醬油釀造ニ使用シタル鹽ニ付テハ醬油査定後六箇月ヲ經過シテ出願シタルトキ
- 二 外國ニ輸出スル鹽又ハ鹽藏魚類ニ付テハ一回ノ輸出量千斤未滿、第一條第一號乃至第五號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ一回ノ使用量五百斤未滿、鹽、鮭、鹽鱒、鹽鱈、鹽鯨、鹽漬臘、豚獸

ニ付テハ一回ノ検査數量千斤未滿ナルモノニ關シテ出願シタルトキ
 三 第二十一條ノ輸出申告書又ハ第二十五條ノ申告書ニ記載シタル寄港地以外ノ内國沿岸
 ニ寄港シタルトキ但シ海難其ノ他已ムヲ得サル事故アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

附 則

本令ハ鹽專賣法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

右規則ニ依リ特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ニシテ其ノ用途以外ニ使用シタルトキ又ハ其ノ
 用途ニ使用セサルトキハ引下ヲ爲シタル金額相當ノ代金ハ追納セシムルコトト爲シタルヲ以テ
 之カ追徴ニ關スル規定ハ國稅徵收法規ヲ準用スルコトトナシ其ノ職權ヲ鹽務官署長ニ附與シタ
 リ

大藏省令第三十二號 (明治三十八年五月九日)

明治三十八年勅令第五百七十七號專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第十七條ノ施行ニ關シ
 テハ國稅徵收法施行細則ノ規定ヲ準用ス

國稅徵收法施行細則ニ依リ稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ鹽務局長又ハ鹽務局出張
 所長トス

附 則

本令ハ明治三十八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

鹽務局事務取扱手續

鹽務局ニ於ケル一般事務ノ取扱即チ製鹽許可手續ヨリ收納輸入移入賣渡指定引渡等ノ手續鑑定
 方法追徴並交付金下付取扱方及鹽ノ出納保管ヨリ設備スヘキ帳簿本省ヘノ報告等ニ關シ其ノ手
 續ヲ定メ鹽務局ニ對シ左ノ訓令ヲ爲シ六月一日ヨリ施行シタリ

大藏省訓令第四十三號 (明治三十八年五月九日)

鹽務局事務取扱手續

第一章 總則

第一條 本則中鹽務局ニ關スル規定ハ鹽務局出張所ニ鹽務局長ニ關スル規定ハ鹽務局出張所長ニ準用ス

第二條 願届書ニシテ本則中書式ヲ定メタルモノニ付テハ鹽務局ハ其ノ用紙ヲ備置キ出願人又ハ届出人ノ請求アルトキハ之ヲ交付スヘシ

第二章 製造

第三條 鹽ノ製造許可ヲ出願セムトスル者アルトキハ第一號書式ニ依リ鹽製造許可願書ヲ提出セシメ第二號書式ニ依リ許可ノ指令ヲ爲スヘシ

第四條 前條ノ外鹽製造ニ關スル願届書ハ第三號書式ニ依リ提出セシメ指令ヲ要スヘキモノハ第二號書式ニ依リ指令ヲ爲スヘシ

第五條 製造人ノ自家用ニ供スル鹽ニ付テハ鹽務官吏ハ検査ノ際其ノ數量ヲ手帳ニ記載シ置クヘシ

第六條 鹽專賣法施行細則第二十六條ニ依リ再製鹽ノ申告ヲ爲ストキハ第四號書式ニ依ラシムヘシ

第三章 收納及雜受

第七條 鹽ヲ納付セムトスル者アルトキハ製造人ノ氏名ヲ鹽製造許可臺帳ニ照查シ現品ヲ適宜ノ場所ニ置カシメ納付人ヲシテ製造人ノ氏名製造場所製造年月日包裝數及鹽數量ヲ申述セシメ第五號書式ノ納付書ニ納付年月日ト共ニ之ヲ記入シ納付人ニハ番號札ヲ交付シ現品ニハ納付書ノ番號ト同一番號ノ票札ヲ付スヘシ

第二章 專賣法ノ制定

第八條 現品ニ票札ヲ付シタルトキハ適宜鹽ヲ採リ其ノ品質ヲ鑑定シ其ノ等級ヲ納付書ニ記入シ納付人ニ示シテ異議ノ有無ヲ質スヘシ

第九條 納付人前條ノ鑑定ニ異議ナキ場合ニ於テ其ノ品質五等以上ナルトキハ鹽ノ秤量ヲ爲シ其ノ數量ヲ納付書ニ記入シ現品ハ納付人ヲシテ之ヲ倉庫又ハ鹽務局ノ指定スル場所ニ運搬セシムヘシ

鹽ノ秤量ハ全部ノ重量ヲ秤量シテ之ヲ定ム但シ包裝シタル鹽ニシテ各包裝ノ數量略同一ナリト認メラルルモノニ付テハ包裝百ニ付五ノ割合(百ニ付五ノ割合カ總數五十以上ニ上ルトキハ五十トス)ヲ以テ適宜包裝ヲ摘出シ其ノ數量中ヨリ風袋量ヲ控除シタルモノヲ包裝數ニテ除シ之ヲ全包裝數ニ乘シテ鹽ノ數量ヲ定ムルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ其ノ摘出シタル包裝ニ第七條ニ依リ現品ニ付シタル票札ノ附屬札ヲ付スヘシ

第二項但書ノ場合ニ於テ秤量終了シタルトキハ納付人ヲシテ解裝シタル鹽ヲ包裝セシムヘシ

納付人鑑定ニ異議アル場合ニ於テハ納付書欄外ニ其ノ旨ヲ記入シテ前條ノ手續ヲ爲シ直ニ再鑑定ヲ爲スヘシ

第十條 前條ノ手續ヲ終リタルトキハ賠償金額ヲ算出シ之ヲ納付書ニ記入シ賠償金仕拂ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ニ依リ賠償金ヲ仕拂フトキハ納付人ヲシテ納付書ニ賠償金額收印ヲ押捺セシメ番號札ト引換ニ仕拂命令書又ハ現金ヲ交付スヘシ

第十一條 鑑定ノ結果鹽專賣法第十六條ニ依リ相當處理ヲ爲スコトヲ命シタルトキハ納付書

欄外ニ其ノ旨ヲ記入シ現品ハ納付人ヲシテ之ヲ引取ラシムヘシ

第十二條 鹽專賣法第三十四條ニ依リ收納スルトキハ本章ノ規定ニ準シ手續ヲ爲スヘシ但シ鹽納付書ノ下ニ法第三十四條收納ノ八字ヲ記入スルヲ要ス

第十三條 鹽ノ沒收不用標本受入等ノ雜受ヲ爲ストキハ第六號書式ノ受入票ヲ作成シ番號受入ノ事由包裝數等級數量及見積賠償金額ヲ記入シ受入ノ手續ヲ爲スヘシ

前項受入票ニハ鹽專賣法第二十五條沒收同第二十七條沒收不用標本受入其ノ他雜受ノ區分ヲ摘要欄ニ記入シ外國鹽又ハ臺灣鹽ニ係ルトキハ其ノ區別ヲモ記入スヘシ

第十四條 鹽ノ雜受ニシテ特ニ領收書ヲ發スヘキトキハ第七號書式ノ領收書ヲ發スヘシ

第四章 外國鹽輸入及臺灣鹽移入

第十五條 外國鹽ノ輸入及臺灣鹽ノ移入ニ關シテハ輸入取扱人又ハ移入取扱人ヲシテ之ヲ取扱ハシムヘシ但シ輸入取扱人又ハ移入取扱人ハ大藏大臣之ヲ定メ其ノ命令書ト共ニ之ヲ關係鹽務局ニ通知スヘシ

第十六條 外國鹽ノ輸入ヲ爲サムトスルトキハ第八號書式甲ノ命令書ニ產地種類品質數量到達期限及受渡場所ヲ記載シテ輸入取扱人ニ示シ之ニ對スル請負價額ヲ申出テシムヘシ

前項ノ請負價額ヲ相當ト認メタルトキハ之ヲ命令書ニ記入シ鹽務局長捺印ノ上輸入取扱人ニ交付シ同號書式乙ニ依リ請書ヲ提出セシムヘシ

第十七條 外國鹽ノ輸入命令ヲ發シタルトキハ第八號書式丙ニ依リ關係稅關ニ通知スヘシ

第十八條 輸入取扱人外國鹽到達ノ旨ヲ申出タルトキハ鹽務局長ハ輸入取扱人立會ノ上命令書ニ照査シテ現品ノ調査ヲ爲スヘシ

第十九條 前條ノ場合ニ於テ命令書記載事項ニ適合スルコトヲ認メタルトキハ第九號書式ノ

外國鹽輸入票ヲ調製シテ之カ受入ノ手續ヲ爲シ請負價額仕拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十條 鹽移入取扱人臺灣鹽ヲ移入シタルトキハ第十號書式甲ニ依リ買受年月日等級包裝無包裝ノ區別鹽ノ數量要求金額及移入ノ年月日船舶名ヲ記入シタル移入申告書ヲ提出セシムヘシ

前項ノ移入申告書ニハ臺灣總督府專賣局ヨリ交付セラレタル鹽賣渡書ヲ添附セシムヘシ

第二十一條 前條ノ申告アリタルトキハ申告書ニ番號ヲ付シ受入ヲ爲スト同時ニ第十號書式

乙ノ鹽賣渡請求書ヲ提出セシメ賣渡ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十二條 移入鹽ニ對スル仕拂金額ノ仕拂及賣渡代金ノ納入ニ付テハ明治三十四年七月大藏

省訓令第二十六號ニ據リテ之ヲ處理シ移入取扱人ニ對シテハ收入超過額ノミノ納入告知書ヲ交付スヘシ

前項ノ仕拂命令及納入告知ニ關シテハ第二十七號書式鹽移入高臺帳ニ依リ之ヲ處理スルモノトス

第五章 賣渡及雜拂

第二十三條 鹽ノ賣渡ヲ請求スル者アルトキハ其ノ申述ニ依リ第十一號書式ノ賣渡請求書ニ

番號賣渡請求人ノ住所氏名賣渡年月日等級及數量ヲ記入スヘシ

第二十四條 前條ノ記入ヲ終リタルトキハ賣渡金額ヲ算出シテ賣渡請求書ニ記入シ之ト同時

ニ賣渡請求人ヲシテ賣渡代金ノ納付ヲ爲サシムヘシ

第二十五條 賣渡請求人代金ヲ納付シタルトキハ其ノ納付ノ證ヲ提示セシメ現品ヲ鑑定秤量

シテ之ヲ交付シ現品領收印ヲ賣渡請求書ニ捺捺セシムヘシ

賣渡請求人カ鹽收納當時ノ等級及數量ヲ以テ現品ノ交付ヲ受クルコトヲ承諾シタルトキハ

前項ノ鑑定秤量ヲ省略スルコトヲ得

第二十六條 賣渡請求人代金ノ延納ヲ請求スルトキハ擔保額ヲ指定シ供託受領證ヲ提出セシメ賣渡請求書ニ第二十三條ニ定メタル記載事項ノ外擔保ノ種類金額又ハ額面供託受領證番號供託金庫名供託年月日及代金納付期日ヲ記入スヘシ

前項ノ記入ヲ終リタルトキハ第二十五條ニ依リ現品ノ交付ヲ爲シ賣渡請求書ニ現品領收印ヲ押捺セシムヘシ

第二十七條 賣渡請求人特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ請求スルトキハ其ノ申述ニ依リ外國ニ輸出スルモノニ在リテハ輸出港輸出先醬油釀造用ニ使用スルモノニ在リテハ普通醬油溜醬油ノ區別及使用場所曹達硫酸曹達晒粉石鹼製造用肥料用獸皮保存用鑛業用ニ使用スルモノニ在リテハ其ノ用途使用場所變性ノ方法年月日鮭鱈鯨臘獸ノ鹽藏用ニ使用スルモノニ在リテハ其ノ用途使用場所帝國外ニ於テ使用スルトキハ出漁船名出港地名ヲモ賣渡請求書ノ摘要欄ニ記入スヘシ

溜醬油ノ釀造又ハ鮭鱈鯨臘獸ノ鹽藏ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ請求スルモノニ在リテハ擔保額ヲ指定シテ供託受領證ヲ提出セシメ賣渡請求書ニ第二十三條及前項ニ定メタル記載事項ノ外擔保物ノ種類金額又ハ額面供託受領證番號供託金庫名及供託年月日ヲ記入スヘシ

第二十八條 鮭鱈鯨臘獸ノ鹽藏用ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者鹽使用濟證明ノ申請ヲ爲サムトスルトキハ第十二號書式甲ノ申請書ヲ提出セシメ其ノ漁獲物ヲ檢査シ同號書式乙ノ鹽使用濟證明書ヲ交付シ之ト同時ニ同號書式丙ニ依リ其ノ旨ヲ賣渡鹽務局ニ通知スヘシ

第二十九條 特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者賣渡請求書ニ記載シタル用途變更ノ申請ヲ爲サムトスルトキハ第十三號書式甲ニ依リ用途變更申請書ヲ提出セシメ同號書式乙ニ依リ許否ノ指令ヲ爲シ其ノ旨ヲ申請書及賣渡請求書欄外ニ記入スヘシ

第三十條 特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲シタルトキハ第十四號書式ニ依リ外國ニ輸出スルモノニ在リテハ輸出港稅關ニ醬油釀造用ニ使用スルモノニ在リテハ使用地所轄稅務署ニ賣渡ノ通知ヲ爲スヘシ

特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ノ用途變更ヲ許可シ又ハ輸出港、輸出先、使用場所、出漁船名、出港地名ノ變更申告アリタルトキハ前項ニ準シ之カ通知ヲ爲スヘシ

第三十一條 外國鹽ノ賣渡ヲ請求セムトスル者アルトキハ鹽ノ產地種類、品質、數量ヲ記載シタル賣渡請求書ヲ提出セシムヘシ

第三十二條 前條ノ請求アリタルトキハ輸入取扱人ニ示シテ輸入請負價額ヲ申出テシメ之ニ依リ鹽ノ賣渡價額ヲ豫定シ擔保額及鹽引渡時期ヲ定メ之ヲ賣渡請求者ニ通知シ擔保ノ供託受領證ヲ提出セシムヘシ

第三十三條 外國鹽到達シタルトキハ其ノ旨ヲ賣渡請求人ニ通知シ鹽代金ヲ納付セシメタル上現品交付ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十四條 鹽ノ亡失、棄却標本用拂出等ノ雜拂ヲ爲ストキハ第十五號書式ノ拂出票ヲ作製シ番號、拂出ノ事由、包裝數等級、數量及賠償金額ヲ記入シ拂出ノ手續ヲ爲スヘシ

前項拂出票ニハ亡失、棄却標本用拂出其ノ他雜拂ノ區分ヲ摘要欄ニ記入シ外國鹽又ハ臺灣鹽ニ係ルトキハ其ノ區分ヲモ記入スヘシ

第六章 指定引渡

第三十五條 鹽專賣法施行細則第十三條第二項ニ依リ鹽務局長其ノ指定シタル者ニ鹽ノ引渡

ヲ命スルハ鹽ヲ鹽務局ニ納付セシムルヲ以テ甚シキ不便アリト認メタル場合ニ限ル

第三十六條 鹽務局長ハ豫メ前條ニ該當スト認ムル製造人ヲ定メ之ヲ其ノ本人ニ通知シ置ク

ヘシ

第三十七條 鹽務局長前條ノ通知ヲ爲シタルトキハ豫メ其ノ製造人ノ製造シタル鹽ヲ引取ル

ヘキ者ヲ定メ鹽務局ノ通知ニ依リ直チニ鹽ノ引取ヲ爲スヘキコトヲ承諾セシメ置クヘシ

第三十八條 第三十六條ニ該當スル者鹽專賣法施行細則第十三條第一項ニ依リ鹽ノ數量ヲ申

告シタルトキハ指定引渡人鹽製造申告簿ニ記入シ置キ相當ノ數量ニ達シタルトキハ前條ニ

依リ引取人ト定メタル者ニ通知シ鹽務官吏ト共ニ引渡場所ニ臨マシメ鹽ノ引取ヲ爲サシム

ヘシ

第三十九條 前條ニ依リ鹽務官吏ヲ出張セシメムトスルトキハ第十六號書式ノ鹽引渡命令書

ニ製造人氏名製造場所製造年月日引取人住所氏名ヲ記入シ之ヲ携帶セシムヘシ

第四十條 鹽務官吏引渡場所ニ臨ミタルトキハ鹽ノ鑑定秤量ヲ爲シ等級數量賠償金額及賣

渡金額ヲ引渡命令書ニ記入シ之ヲ製造人ニ開示シ異議ノ有無ヲ質スヘシ

第四十一條 製造人前條ノ鑑定等級ニ異議ナキトキハ鹽務官吏ハ引取人ニ對シ口頭ヲ以テ賣

渡金額ノ納入告知ヲ爲スヘシ

第四十二條 引取人賣渡金額ヲ納入シタルトキハ鹽務官吏ハ製造人ニ對シ現品ノ引渡ヲ命シ

之ニ賠償金ヲ交付シ引渡命令書ニ現金領收印ヲ押捺セシムヘシ

第四十三條 鹽務官吏引渡命令ヲ終リタルトキハ鹽務局長ニ復命シ引渡命令ニ其ノ承認ヲ受

クヘシ

第七章 鑑定

第四十四條 鹽ノ鑑定ヲ爲ス場合ニ於テハ能ク混合シタル上相當ノ量ヲ採リ可檢物ト爲スヘシ但シ包裝シタルモノニ在リテハ同一製造人ノ納付セムトスル鹽ニシテ品質類似シタルモノニ限り包裝百ニ付五百ニ付五ノ割合カ總數五十以上ニ上ルトキハ五十トスノ割合ヲ以テ各包裝ヨリ一定量ヲ摘出シ相混合シテ可檢物ト爲スヘシ

第四十五條 鹽ノ鑑定ハ其ノ乾濕色澤夾雜物ノ多少等ヲ查察シ標本ト對照シテ之ヲ行フヘシ第四十六條 前條ノ方法ニ依リ鹽ノ等級ヲ定メ難キトキハ左ノ方法ニ依リ分析試驗ヲ行ヒ其ノ等級ヲ定ムヘシ

一 五十瓦ノ可檢鹽ヲ蒸餾水ニ溶解シ五百立方センチメートルトナシ之ヲ濾過スヘシ

二 第一號ノ濾液七十立方センチメートルヲ採リ多量ノ炭酸重土ヲ加ヘ十分間煮沸シ冷却後蒸餾水ヲ加ヘテ原容ニ復セシメ之ヲ濾過スヘシ其ノ濾液五十立方センチメートルニ

二分ノ一定規炭酸加里液五十立方センチメートルヲ加ヘ煮沸シ之ヲ濾過シタル後更ニ其ノ濾液八十立方センチメートルヲ採リ二分ノ一定規鹽酸ヲ以テ過剩ノ炭酸加里ヲ滴定シ亞爾加里金屬以外ノ金屬ト化合シタル鹽素ノ量ヲ算出スヘシ

三 可檢鹽ヲ以テ適度ノ濃度ヲ有スル鹽液ヲ作り之ニ一定量ノ「コバルト」液硝酸「コバルト」三十分ヲ蒸餾水六十分ニ溶解シタル液ニ亞硝酸曹達五十分ヲ蒸餾水五十分ニ溶解シタル液ヲ加ヘ更ニ冰醋酸十分ヲ加ヘテ攪拌シ一晝夜間放置シテ得タル上澄液ヲ加ヘ一定時間内ニ於テ黃色沈澱ノ分離スル状態ニ依リ加里ヲ檢定シ之ニ化合シタル鹽素ノ量ヲ算出スヘシ

四 第一號ノ濾液十立方センチメートルニ蒸餾水ヲ加ヘテ百立方センチメートルニ稀釋シ

其ノ二十五立方センチメートルヲ採リ十分ノ一定規硝酸銀液ヲ以テ總鹽素量ヲ檢定スヘシ

五 可檢鹽十瓦ヲ攝氏百四十度ニ於テ一時間熱シ其ノ減量ヲ以テ水分トナスヘシ

六 第二號及第三號ニ依リテ檢定シタル各鹽素量ノ和ヲ第四號ニ依リテ得タル總鹽素量ヨ

リ減シ其ノ殘數ヲ以テ曹達ト化合シタル鹽素トシ鹽化曹達ノ量ヲ算出スヘシ

第五號ニ依リ秤定シタル水分ノ量ト本號ニ於テ算定シタル鹽化曹達ノ量トノ和ヲ百ヨ

リ減シ其ノ殘數ヲ以テ夾雜物ノ量トナスヘシ

第四十七條 再鑑定ヲ求メタル者アルトキハ前條ノ方法ニ依リ分析試驗ヲ行ヒ鑑定書ヲ作成

スヘシ

再鑑定ノ申立人ニハ前項ノ試驗ニ立會スルコトヲ得ル旨ヲ告ケ請求アルトキハ之ヲ試驗ニ

立會セシムヘシ

第四十八條 鹽務局長ハ第十七號書式ノ再鑑定決定書ヲ作成シ之ヲ再鑑定申立人ニ交付スヘ

シ

第八章 追徴及交付金

第四十九條 特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ニ付追徴ヲ爲スヘキ場合ニ於テ追徴金納入告知書

ヲ發送スルトキハ追徴ヲ爲スヘキ事由ヲ記載シタル書面ヲ併セテ送付スヘシ

第五十條 鹽專賣法第二十五條ニ依リ追徴ヲ爲ス場合ニ於テハ前條ニ準スヘシ

第五十一條 一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ醬油釀造用曹達、硫酸曹達、晒粉、石鹼製造用、肥

料用獸皮保存用、鑛業用ニ使用シ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者アルトキハ第十八號書式

ノ請求事項欄ニ其ノ用途、使用ノ場所、數量及年月日ヲ記載シタル交付金下付請求書ニ鹽使用

證明書、醬油查定證明書若ハ鹽變性證明書ヲ添付シ之ヲ提出セシムヘシ
 第五十二條 前條ニ依リ交付金下付請求書ノ提出アリタルトキハ證明書類ノ調査ヲ爲シ交付金額ヲ算出シテ之ヲ請求書ニ記入シ請求人ヲシテ交付金領收證印ヲ押捺セシメ仕拂命令書ヲ交付スヘシ

第五十三條 一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ曹達、硫酸曹達、晒粉、石鹼製造用、肥料用、獸皮保存用、鑛業用ニ使用スル爲鹽使用證明書ノ交付ヲ請求スル者アルトキハ第十九號書式甲ニ依リ其ノ用途、使用ノ數量、場所及年月日ヲ記入シタル使用證明申請書ヲ提出セシメ鹽ノ使用ニ付キ相當ノ監視ヲ施シ使用ノ事實ヲ確認シテ同號書式乙ノ使用證明書ヲ交付スヘシ

鹽變性證明書ノ交付ヲ請求スル者アルトキハ第二十號書式甲ニ依リ其ノ用途、數量、變性ノ方法、場所及年月日ヲ記入シタル變性證明申請書ヲ提出セシメ鹽ノ變性ヲ施シ同號書式乙ノ變性證明書ヲ交付スヘシ

第五十四條 一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ鮭、鱒、鯨、臘、豚獸ノ鹽藏ニ使用シ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者アルトキハ第十八號書式ノ請求事項欄ニ鹽藏物ノ種類、數量、漁獲場所、鹽藏場所、漁獲物ノ移出先ヲ記載シタル交付金下付請求書ヲ提出セシメ検査地ヲ指定シテ鹽藏物又ハ殘存鹽ノ検査ヲ爲シ第五十二條ニ依リ交付金下付ノ手續ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ請求書ニ検査地名及検査年月日ヲ記入シ置クヘシ
 遠洋又ハ外國若ハ外國ノ沿海ニ於テ漁獲ヲ爲ス者ノ出漁前ニ提出スヘキ申告書ハ第二十一號書式ニ依ラシムヘシ

第九章 出納及保管

第五十五條 鹽ヲ出納スルハ鹽務局長ノ命令ニ依ルヘシ

第五十六條 鹽務局ニ鹽會計官吏ヲ置キ鹽ノ出納保管ヲ司掌セシムヘシ

第五十七條 鹽會計官吏ハ第二十二號書式ノ鹽出納簿ヲ作成シ其ノ受拂ヲ記入スヘシ

第五十八條 鹽ノ藏置ハ等級、包裝量等ニ依リ區分ヲ爲シ藏出ノ際ニ不便ナキコトニ注意スヘシ

第五十九條 鹽貯藏中量増又ハ量減アルコト明カトナリタルトキハ受入又ハ拂出ノ手續ヲ爲スヘシ

第六十條 鹽貯藏中其ノ等級カ收納當時ノ等級ニ異ナルコト明カトナリタルトキハ第二十三號書式ノ等級變更票ニ依リ等級變更ノ手續ヲ爲スヘシ

第六十一條 會計年度ノ終ニ於テハ在庫品ヲ調査シ前二條ノ手續ヲ爲スヘシ

第六十二條 鹽ノ亡失及出納計算書ニ關シテハ明治三十八年大藏省訓令第三十號物品出納規程第九條第十二條及第十三條ヲ準用ス

第十章 帳簿及報告

第六十三條 鹽務局ハ左ノ帳簿ヲ設備スヘシ

一 鹽製造許可臺帳 第二十四號書式

一 鹽製造高臺帳 第二十五號書式

一 鹽輸入高臺帳 第二十六號書式

一 鹽移入高臺帳 第二十七號書式

一 鹽受拂整理簿 第二十八號書式

一 指定引渡人鹽製造申告簿 第二十九號書式

一 特別定價鹽賣渡整理簿 第三十號書式

第二章 專賣法ノ制定

一 延納代金整理簿

第三十一號書式

一 擔保物件整理簿

第三十二號書式

一 鹽專賣法違反者處分簿

第三十三號書式

前項帳簿ノ外補助簿ヲ設ケテ整理スルヲ便トスル場合ニ於テハ適宜之ヲ設クルコトヲ得

第六十四條 鹽製造許可臺帳ハ鹽製造ニ關スル願届ニ依リ記入スヘシ

鹽ノ製造ヲ廢止シタルトキ又ハ鹽ノ製造許可ヲ取消シタルトキハ鹽製造許可臺帳ノ削除ヲ

爲スヘシ

第六十五條 鹽製造高臺帳ハ鹽納付書、鹽引渡命令書、自家用鹽申告及再製鹽製造高申告書ニ依

リ記入スヘシ

第六十六條 鹽輸入高臺帳ハ鹽輸入取扱人ノ提出シタル書類及鹽輸入票ニ依リ鹽移入高臺帳

ハ鹽移入申告書及鹽賣渡請求書ニ依リ記入スヘシ

第六十七條 鹽受拂整理簿ハ第七十二條定ムルトコロノ日計箋ニ依リ記入スヘシ

第六十八條 指定引渡人鹽製造申告簿ハ指定引渡人ノ鹽製造申告及鹽引渡命令書ニ依リ記入

スヘシ

第六十九條 特別定價鹽賣渡整理簿ハ鹽賣渡請求書其ノ他關係書類ニ依リ記入スヘシ

第七十條 延納代金整理簿及擔保物件整理簿ハ鹽賣渡請求書及代金徵收書類ニ依リ記入ス

ヘシ

第七十一條 鹽專賣法違反者處分簿ハ通告又ハ告發ニ關スル書類ニ依リ記入スヘシ

第七十二條 左ノ各號ノ書類ニハ各別ニ第三十四號書式ノ日計箋ヲ添附スヘシ

一 鹽納付書

二 鹽輸入票

三 臺灣鹽移入申告書

四 鹽賣渡請求書

五 鹽引渡命令書

六 鹽代金追徴ニ關スル書類

七 交付金下付請求書

八 鹽受入票

九 鹽拂出票

十 鹽等級變更票

鹽賣渡請求書ノ日計箋ヲ作成スル場合ニ於テ現品引渡未済ノモノアルトキハ日計箋ノ備考

ニ其ノ旨ヲ附記シ置キ其ノ書類ニ限り再鹽會計官吏ニ送付スヘシ

鹽會計官吏前項引渡未済ノ鹽ヲ引渡シタルトキハ鹽賣渡請求書ノ整理ヲ爲シ整理終了シメ

ルトキハ其ノ旨ヲ日計箋ノ備考ニ附記スヘシ

第一項ノ書類ハ月別及年別ニ之ヲ整理スヘシ

第七十三條 鹽務局ハ鹽製造許可臺帳及製造許可ニ關スル書類ニ依リ毎月末ニ於テ第三十五

號書式ノ鹽製造許可報告表ヲ毎年四月一日及十月一日現在ヲ以テ第三十六號書式ノ鹽製造

人員、場數、生産見込高報告表ヲ作成スヘシ

第七十四條 鹽務局ハ鹽製造高臺帳ニ依リ毎月末及毎年度末ニ於テ第三十七號書式ノ鹽製造

高報告表及第三十八號書式ノ鹽製造高等別報告表ヲ作成スヘシ

第七十五條 鹽務局ハ鹽輸入高臺帳ニ依リ毎月第三十九號書式ノ鹽輸入高報告表ヲ作成スヘシ

第七十六條 鹽務局ハ鹽移入高臺帳ニ依リ第四十號書式ノ鹽移入高報告表ヲ作成スヘシ

第七十七條 鹽務局ハ鹽受拂整理簿ニ依リ毎月末ニ於テ第四十一號書式ノ鹽受拂報告表ヲ作成スヘシ

第七十八條 鹽務局ハ鹽受拂整理簿及鹽等級變更票ニ依リ毎月末及毎年度末ニ於テ第四十二號書式ノ收納鹽受拂等級別報告表ヲ作成スヘシ

第七十九條 鹽務局ハ鹽賣渡請求書交付金下付請求書及鹽代金追徴ニ關スル書類ニ依リ毎月末及毎年度末ニ於テ第四十三號書式ノ特別用途鹽賣渡報告表ヲ作成スヘシ

第八十條 鹽務局ハ歳入徵收簿歳出簿及鹽受拂報告表ニ依リ毎年度末ニ於テ第四十四號書式ノ鹽專賣計算報告表ヲ作成スヘシ

第八十一條 鹽務局ハ延納代金整理簿ニ依リ毎月末ニ於テ第四十五號書式ノ代金延納高報告表ヲ作成スヘシ

第八十二條 鹽務局ハ鹽專賣法違反者處分簿ニ依リ毎年九月三十日及三月三十一日現在ヲ以テ第四十六號書式ノ鹽專賣法違反者處分報告表ヲ作成スヘシ

第八十三條 鹽務局出張所ニ於テ作成シタル報告表ハ之ヲ翌月十日マテニ鹽務局ニ提出シ鹽務局ハ之カ總括ヲ爲シ其ノ報告表ヲ同月二十日マテニ大藏省ニ提出スヘシ

第八十四條 本章規程ノ報告表ニシテ毎月ノ累計ヲ掲クヘキモノハ毎年四月ヨリ始メ翌年三月ニ終ルモノトス

第一號書式 (輪廓縦六寸横九寸)

明治何年何月何日鹽製造許可臺帳記帳濟④

| | | | |
|-------------|---|---------------------|----------|
| 第何號 | 鹽製造許可願書 | 何府縣何郡市何町村大字何番地 何 | 某 ④ |
| | 製造人住所氏名又ハ名稱印 | 何郡市何町村大字何番地 何 | 某 ④ |
| 管理人住所氏名印 | | 何郡市何町村大字何番地 何 | 某 ④ |
| 製鹽方 | 鹽田入濱製鹽 | | |
| 採鹹地名及地番 | 何郡市何町村大字何番地 | | |
| 製鹽段別 | 鹽田何町何段何畝歩 | | |
| 製鹽場位置 | 何郡市何町村大字何番地 | | |
| 鹹水又ハ鹹砂貯藏場位置 | 何郡市何町村大字何番地 | | |
| 製鹽貯藏場位置 | 何郡市何町村大字何番地 | | |
| 生產見込高 | 自明治何年何月三十一日分何程 至明治何年何月三十一日分何程 一箇年 | | |
| 出願年月日 | 明治何年何月何日 | | |
| 指令年月日 | 明治何年何月何日 | | |
| 局(所)長④ | 指令年月日 | 許可又ハ不許可 | 明治何年何月何日 |
| | 摘要 | 許可(何々ニ由リ不許可) | 調査④ |

備考

- 一 再製鹽ハ原料鹽ノ見込數量ヲ摘要欄ニ記入スヘシ
- 二 試製鹽ハ試製ナルコト及其ノ期間ヲ摘要欄ニ記入スヘシ
- 三 自家用鹽ハ其ノ數量ヲ生產見込高欄ニ内書附記スヘシ

第二章 專賣法ノ制定

第二號書式 (輪廓縦六寸横四寸五分)

| | |
|----------|----------------|
| 第何號 | 鹽製造許可願指令書 |
| 明治何年何月何日 | 何府縣何郡市何町村大字何番地 |
| 明治何年何月何日 | 何 |
| | 何鹽務局(何出張所)長 〇 |

第三號書式 (輪廓縦六寸横四寸五分)

| | | | |
|------------------|------------------------|----------------|------|
| 出願(申告)者住所氏名又ハ名稱印 | 何々願(申告)書 | 何府縣何郡市何町村大字何番地 | 某 〇 |
| 製鹽場位置 | 何郡市何町村大字何番地 | 何 | |
| 出願(申告)事項 | 製鹽段別何町何段歩ヲ何町何段何畝歩ニ増加ノ件 | | |
| 出願(申告)事由 | 鹽田増加ニ由ル | | |
| 出願年月日 | 明治何年何月何日 | | |
| 局(所)長 〇 | 指令年月日 | 明治何年何月何日 | 調査 〇 |
| | 許可又ハ不許可 | 許可(何々ニ由リ不許可) | |

第四號書式 (輪廓縦六寸横四寸五分)

| | | | |
|-----------|-----------|-------------|--------|
| 再製鹽製造高申告書 | 明治何年何月何日 | 何 | 某 〇 |
| 製年 | 自明治何年何月何日 | 何郡市何町村大字何番地 | |
| 製月 | 至明治何年何月何日 | | |
| 製日 | | | |
| 原買入高 | 前月ヨリ越高 | 再製 | 前月ヨリ越高 |
| | 五百斤 | | 二百斤 |
| | 千二百斤 | | 七百五十斤 |

第二章 專賣法ノ制定

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|-----------------------|------------------|---------------------|----------------------|---------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------|----------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------------|------------------|--|--|--|--|----------------------------|--|--|------------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------|-----------------------|--|--------|--------|-----------------------|---|--|
| 局 (所)長 ⑩ | 鹽 受 入 命 令 | 現 金 仕 拂 | 明治何年何月何日 鹽出納簿登記濟 | 明治何年何月何日 現金出納簿登記濟 | 明治何年何月何日 仕拂命令第何號 | 明治何年何月何日 何 | 明治何年何月何日 何 | 明治何年何月何日 何 | 明治何年何月何日 何 | 仕 拂 ⑩ | 鹽 會 計 官 吏 ⑩ | 計 算 ⑩ | 秤 量 ⑩ | 鑑 定 ⑩ | 受 付 ⑩ | 申 述 檢 定 | 包 裝 數 ⑩ | 何 俵 何 斤 何 俵 何 斤 何 斤 何 斤 何 斤 何 斤 | 何 俵 何 斤 何 俵 何 斤 何 斤 何 斤 何 斤 | 何 俵 何 斤 何 俵 何 斤 何 斤 何 斤 何 斤 | 何 俵 何 斤 何 俵 何 斤 何 斤 何 斤 何 斤 | 製 造 年 月 日 ⑩ | 自 明 治 何 年 何 月 何 日 ⑩ | 至 明 治 何 年 何 月 何 日 ⑩ | 第 何 號 ⑩ | 納 付 年 月 日 ⑩ | 製 造 年 月 日 ⑩ | 製 造 所 名 ⑩ | 製 造 人 名 ⑩ | 何 郡 市 何 町 村 大 字 何 番 地 ⑩ | 何 ⑩ | 某 ⑩ | 受 領 證 印 ⑩ | 明 治 何 年 何 月 何 日 領 收 ⑩ | 明 治 何 年 何 月 何 日 鹽 製 造 高 臺 帳 記 帳 濟 ⑩ |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

第五號書式 (輪廓縱六寸橫九寸)

一 再製ニ使用シタル原料鹽ニシテ使用シタル月ニ製成ニ至ラサルトキハ其ノ原料鹽ノ數量、前月中ニ再製ニ使用シタル原料鹽ヲ製成シタルト
 キハ之レニ對スル再製鹽ノ數量ヲ孰レモ備考ニ記入スヘシ

備考

| | | | | | | | | | |
|----------------|-------------|--------|--------|---|--------|--------|-------------|-------------|--------|
| 局 (所)長 ⑩ | 調 査 ⑩ | 考 備 | 鹽 料 | 殘 | 使 用 | 鹽 製 | 殘 | 納 付 | 賣 拂 |
| | | | | 高 | 高 | | 九 百 斤 | 八 百 斤 | 高 |

第六號書式 (輪廓縱六寸横四寸五分)

| | | | | | |
|-------|-------|----------|---------|---|----------|
| 第何號 | 鹽 | 受 | 入 | 票 | 明治何年何月何日 |
| 包裝數 | 等級 | 數量 | 見積賠償金額 | 備 | 考 |
| 何俵 | 何等 | 何斤 | 何何 | 程 | 法第何條沒收 |
| 局(所)長 | 鹽受入命令 | 明治何年何月何日 | 鹽出納簿登記濟 | 秤 | 鹽會計官吏 |
| | | | | 量 | |
| | | | | 鑑 | |
| | | | | 定 | |
| | | | | 查 | |

第七號書式 (輪廓縱六寸横四寸五分)

| | | | | | |
|----------|----|-------|----|---|---------------|
| 第何號 | 鹽 | 領 | 收 | 書 | 何鹽務局(何出張所) |
| 包裝數 | 數量 | 何俵 | 何斤 | 要 | 鹽專賣法第何條ニ由ル沒收鹽 |
| 明治何年何月何日 | 宛 | 鹽會計官吏 | 官 | 氏 | 名 |
| | | | | | 團 |

備考

一本書ニハ契印ヲ爲シ受入票ノ番號ヲ記入スヘシ

第八號書式 (輪廓^甲縱六寸横四寸五分)

(甲)

| | | | | | | | | |
|-----------|-----|-----|-----|-----|---|---|---|---|
| 第何號 | 鹽 | 輸 | 入 | 請 | 負 | 命 | 令 | 書 |
| 輸入取扱人住所氏名 | 何府縣 | 何郡市 | 何町村 | 何番地 | 何 | 某 | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|----|---|----|---|----|---|------|---|-----|---|------|---|------|---|
| 產地 | 何 | 種類 | 何 | 品質 | 何 | 數量 | 何 | 到達期限 | 何 | 輸入港 | 何 | 受渡場所 | 何 | 請負價額 | 何 |
| 明治何年何月何日外國鹽輸入命令ニ依リ右ノ通輸入請負方命令條現品到達ノ上ハ直ニ税關ニ通知シ輸入ノ手續ヲ爲シ到達ノ旨ヲ <small>横濱 神戶</small> 鹽務局ニ申出ツヘシ 明治何年何月何日 何 鹽 務 局 長 團 | | | | | | | | | | | | | | | |

(乙)

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------------|----|---|----|---|----|---|------|---|-----|---|------|---|------|---|
| 第何號 | 鹽輸入請負命令書 | | | | | | | | | | | | | | |
| 輸入取扱人住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 某 | | | | | | | | | | | | | | |
| 產地 | 何 | 種類 | 何 | 品質 | 何 | 數量 | 何 | 到達期限 | 何 | 輸入港 | 何 | 受渡場所 | 何 | 請負價額 | 何 |
| 明治何年何月何日外國鹽輸入命令ニ依リ右ノ通輸入請負方命令條現品到達ノ上ハ直ニ税關ニ通知シ輸入ノ手續ヲ爲シ到達ノ旨ヲ <small>横濱 神戶</small> 鹽務局ニ申出ツヘシ 明治何年何月何日 右御請仕候也 何府縣何郡市何町村何番地 某 何 鹽 務 局 長 團 | | | | | | | | | | | | | | | |

(丙)

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------------|-----------|----------------|----|---|----|---|------|---|-----|---|------|---|------|---|
| 第何號 | 鹽輸入請負命令通知書 | | | | | | | | | | | | | | |
| 輸入請負命令年月日 | 明治何年何月何日 | | | | | | | | | | | | | | |
| 輸入請負命令番號 | 第何號 | 輸入取扱人住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 某 | | | | | | | | | | | | |
| 產地 | 何 | 種類 | 何 | 品質 | 何 | 數量 | 何 | 到達期限 | 何 | 輸入港 | 何 | 受渡場所 | 何 | 請負價額 | 何 |
| 右之通輸入命令候ニ付此段及御通知候也 明治何年何月何日 何 鹽 務 局 團 | | | | | | | | | | | | | | | |

第九號書式 (輪廓縱六寸橫九寸)

明治何年何月何日鹽輸入高臺帳記帳濟

| | | | | | | | |
|--------------|------|-------------|-----------------|-----------------|------------|------|------|
| 第何號 | | 鹽 | | 輸入 | | 票 | |
| 輸入請負命令年月日及番號 | 何 | 明治何年何月何日第何號 | 輸入 | 取扱人 | 名氏 | 何 | 某 |
| 受渡年月日 | 何 | 明治何年何月何日 | 請負額 | 領收證印 | 明治何年何月何日領收 | 何 | |
| 受渡場所 | 何 | 何 | 種類 | 品質 | 包裝數 | 數量 | 請負額 |
| 產地 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 國 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 鹽 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 調査 | 秤量 | 鑑定 | 仕拂 | 鹽會計官吏 | 何 | 何 | 何 |
| 要摘 | 局長 | 鹽受入命令 | 明治何年何月何日鹽出納簿登記濟 | 明治何年何月何日仕拂命令第何號 | 何(款) | 何(項) | 何(目) |
| | 仕拂命令 | 明治何年度歲出何部 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |

第十號書式 (輪廓甲縱六寸橫四寸五分)

明治何年何月何日鹽移入高臺帳記帳濟

(甲)

| | | | | | | |
|-----------|---|----------|-----|-----|-----|---|
| 第何號 | 鹽 | | 移入 | | 申告書 | |
| 移入年月日 | 何 | 明治何年何月何日 | 鹽移入 | 取扱人 | 何 | 某 |
| 移入船舶名 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 買受年月日 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 等級 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 包裝(又ハ無包裝) | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 數量 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 百斤當單價 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |
| 要求金額 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 | 何 |

第二章 專賣法ノ制定

| | | | | | | | | | |
|----|------|------------|----------|-------------------------|----------|---------------|---------------|--------------------|--------|
| 何等 | 級 | 保 | | 擔 | | 延納 付期 限 | 年賣 月日 渡 | 第何號 | 鹽賣渡請求書 |
| | | 供月 託日 | 庫名 託金 | 證番 號 | 供託 受領 | | | | |
| 何 | 包裝數 | 何 | 何 | 第何號 | 何程 | 何 | 賣渡請求人住 | 何府縣何郡市何町村何番地(鹽賣買業) | |
| 何 | 量 | 證印 | 鹽受領 | 名所氏 | 求住 | 賣渡請求 | 何 | 何 | 某 |
| 何 | 賣渡單價 | 明治何年何月何日領收 | 何 | (何府縣何郡市何町村何番地) 代理人何某 | | | | | |
| 何 | 賣渡金額 | 何 | 何 | | | | | | |
| 何 | 程 | 何 | 何 | | | | | | |
| 何 | 調查 | 何 | 何 | | | | | | |

第十一號書式 (輪廓縦六寸横九寸)

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------|-----------------|-----|----------|---------------|-----------|------------|-----------|----------|---|---|----|
| 局 | 長 | 鹽拂出命令 | 明治何年何月何日鹽出納簿登記濟 | 第何號 | 臺灣鹽賣渡請求書 | 年賣 月日 渡 | 鹽受領 印領 | 明治何年何月何日領收 | 賣渡 請求人 | 賣渡 金額 | 何 | 某 | 調查 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 局 | 長 | 鹽拂出命令 | 明治何年何月何日鹽出納簿登記濟 | 第何號 | 臺灣鹽賣渡請求書 | 年賣 月日 渡 | 鹽受領 印領 | 明治何年何月何日領收 | 賣渡 請求人 | 賣渡 金額 | 何 | 某 | 調查 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------------|------|-----------------|--------|-------------------|------|-----------------|--|
| 局(所)長 ㊦ | | 現金收入 | | 明 治 何 年 何 月 何 日 | | 現金出納簿登記濟 | |
| 鹽拂出命令 | | 納入告知 | | 明 治 何 年 何 月 何 日 | | 第 何 號 何 月 何 日 限 | |
| 明 治 何 年 何 月 何 日 | | 明 治 何 年 何 月 何 日 | | 何 (款) 何 (項) 何 (目) | | 鹽 出 納 簿 登 記 濟 | |
| 官鹽會吏計 ㊦ | 徵收 ㊦ | 官收吏入 ㊦ | 取擔扱保 ㊦ | 執變行性 ㊦ | 秤量 ㊦ | 鑑定 ㊦ | |

備考

一擔保提供ノ理由ヲ異ニスルモノアルトキハ其ノ區別及之ニ對スル金額ヲ區分シテ之ヲ摘要欄ニ記入スヘシ

第十二號書式 (輪廓^甲西乙^甲縱六寸橫四寸五分)

| | | | | | | | |
|---------------|--|-------------------|--|-------------------------|--|-----------------|--|
| 第 何 號 | | 鹽 使 用 濟 證 明 申 請 書 | | 何 府 縣 何 郡 市 何 町 村 何 番 地 | | 某 ㊦ | |
| 所 申 請 人 住 氏 名 | | 所 申 請 人 住 氏 名 | | 何 | | 某 ㊦ | |
| 事 項 | | 鹽 藏 物 之 種 類 | | 何 何 何 斤 | | | |
| 申 請 年 月 日 | | 鹽 藏 物 之 移 出 先 所 | | 何 何 何 何 日 | | | |
| 局 (所) 長 ㊦ 調 | | 明 治 何 年 何 月 何 日 | | 明 治 何 年 何 月 何 日 | | 明 治 何 年 何 月 何 日 | |
| 第 何 號 | | 鹽 使 用 濟 證 明 書 | | 何 府 縣 何 郡 市 何 町 村 何 番 地 | | 某 ㊦ | |
| 所 申 請 人 住 氏 名 | | 所 申 請 人 住 氏 名 | | 何 | | 某 ㊦ | |
| 事 項 | | 鹽 藏 物 之 種 類 | | 何 何 何 斤 | | | |
| 申 請 年 月 日 | | 鹽 藏 物 之 移 出 先 所 | | 何 何 何 何 日 | | | |
| 局 (所) 長 ㊦ 調 | | 明 治 何 年 何 月 何 日 | | 明 治 何 年 何 月 何 日 | | 明 治 何 年 何 月 何 日 | |
| 第 何 號 | | 鹽 使 用 濟 證 明 書 | | 何 府 縣 何 郡 市 何 町 村 何 番 地 | | 某 ㊦ | |
| 所 申 請 人 住 氏 名 | | 所 申 請 人 住 氏 名 | | 何 | | 某 ㊦ | |

第十三號書式

(甲)

| | | | | | | | | |
|--------------------------------|---------|-----------------|---|-------------|-------------|----------|------------------------|---|
| 局 | 申 | 事 | 申 | 申請人住 所氏名 | 第 何 號 | 鹽用途變更申請書 | 何府縣何郡市何町村何番地 何 | 某 |
| (所)長 調 査 不 許 可 明 治 何 年 何 月 何 日 | 年 月 日 請 | 明 治 何 年 何 月 何 日 | 鹽 買 受 當 初 年 月 日 量 鹽 買 受 當 初 年 月 日 量 右 用 途 何々々 用 途 變 更 何 件 | | | | 何 斤 明 治 何 年 何 月 何 日 | |

(丙)

| | | | | | | | | |
|----------------------------------|---------|-----------------|--|-------------|-------------|---------|-------------------|---------------------|
| 局 | 申 | 事 | 申 | 申請人住 所氏名 | 第 何 號 | 鹽使用濟通知書 | 何府縣何郡市何町村何番地 何 | 某 |
| 右證明書交付候ニ付通知候也 明 治 何 年 何 月 何 日 | 年 月 日 請 | 明 治 何 年 何 月 何 日 | 鹽 藏 物 移 出 先 所 鹽 藏 物 移 出 先 所 鹽 藏 物 移 出 先 所 鹽 藏 物 移 出 先 所 | | | | 何 何 何 斤 | 何 鹽 務 局 (何 出 張 所) 何 |

| | | | | | | | | |
|-------------------------|---------|-----------------|--|-------------|-------------|---------|-------------------|---------------------|
| 局 | 申 | 事 | 申 | 申請人住 所氏名 | 第 何 號 | 鹽使用濟通知書 | 何府縣何郡市何町村何番地 何 | 某 |
| 右證明書 明 治 何 年 何 月 何 日 | 年 月 日 請 | 明 治 何 年 何 月 何 日 | 鹽 藏 物 移 出 先 所 鹽 藏 物 移 出 先 所 鹽 藏 物 移 出 先 所 鹽 藏 物 移 出 先 所 | | | | 何 何 何 斤 | 何 鹽 務 局 (何 出 張 所) 何 |

(乙)

| | | | |
|---------------|--|----------------|--------|
| 第何號 | 鹽用途變更許可書 | 何府縣何郡市何町村何番地 | 某 ④ |
| 申請人住所氏名 | | | |
| 申請事項 | 鹽買受當年月日量 鹽買受當初ノ用途 鹽買受當初ノ用途 右用途ヲ何々ノ用途ニ變更ノ件 | 何斤 明治何年何月何日 | |
| 申請年月日 | 明治何年何月何日 | | |
| 右許可ス(又ハ許可シ難シ) | 明治何年何月何日 | | |
| 何鹽務局(何出張所) | | | ④ |

第十四號書式 (輪廓縦六寸横四寸五分)

| | | | |
|----------|----------------|--------------|--------|
| 第何號 | 鹽特別定價賣渡通知書 | 何府縣何郡市何町村何番地 | 某 ④ |
| 鹽買受人住所氏名 | | | |
| 賣渡年月日 | 等 | 等 | |
| 級 | 級 | 級 | |
| 數 | 數 | 數 | |
| 量 | 斤 | 斤 | |
| 摘 | 何々用途(又ハ何地へ輸出等) | | |
| 要 | | | |
| 明治何年何月何日 | | | |
| 宛 | | 何鹽務局(何出張所) | ④ |

第十五號書式 (輪廓縦六寸横四寸五分)

| | | |
|-----------------|-------|----------|
| 第何號 | 鹽拂出票 | 明治何年何月何日 |
| 包裝數 | 等 | |
| 級 | 數 | |
| 量 | 斤 | |
| 賠償金額 | 程 | |
| 摘 | 何々爲亡失 | |
| 要 | | |
| 調査 | ④ | |
| 鑑定 | ④ | |
| 秤量 | ④ | |
| 鹽會計 | ④ | |
| 官吏 | ④ | |
| 局(所)長 | ④ | |
| 鹽拂出命令 | | |
| 明治何年何月何日鹽出納簿登記濟 | | |

第十六號書式 (輪廓縱六寸橫九寸)

明治何年何月何日鹽製造高臺帳記帳濟

第何號 鹽引渡命令書

局(所)長(印)

明治何年何月何日

製年 自明治何年何月何日

製氏 何

某

納延期 明治何年何月何日

何郡市何町村大字何番地

擔保物 何

賠償金額收印 何府縣何郡市何町村何番地

額面額 何程

何府縣何郡市何町村何番地

供託受領 第何號

何

供託金 何金庫

(何府縣何郡市何町村何番地) 代理人 何

年供月託 明治何年何月何日

復命年月日及要領

等級 數量 賠償金額

賣渡單價

賣渡金額

復命年月日及要領

何等 何斤 何程

何程

何程

何程

要摘

局(所)長(印)

現金收入

明治何年何月何日現金出納簿登記濟

現渡金 官收 吏前

現金任拂

明治何年何月何日現金出納簿登記濟

現渡金 官收 吏前

納入告知

明治何年何月何日現金出納簿登記濟

現渡金 官收 吏前

歲入何部

明治何年何月何日現金出納簿登記濟

現渡金 官收 吏前

現金

明治何年何月何日現金出納簿登記濟

現渡金 官收 吏前

第十七號書式 (輪廓縱六寸橫四寸五分)

鹽再鑑定決定書

製造人

何

一製造年月日

明治何年何月何日

一分析試驗ノ成績

何

鹽百分中ノ含有量

何程

何

第二章 專賣法ノ制定

右鑑定ノ成績ニ依リ何等ト決定ス
明治何年何月何日

何何
程程

何鹽務局(出張所)長氏名

第十八號書式 (輪廓縦六寸横四寸五分)

| | | |
|---------|---------------------------------|--------------------------------|
| 第何號 | 交付金下付請求書 | |
| | 請求年月日 | 明治何年何月何日 |
| 請求事項 | 鹽用途 鹽使用場所 鹽使用數量 鹽使用年月日 | 何府縣何郡市何町村何番地 何斤 明治何年何月何日 |
| 局(所)長 | 現品検査 | 何府縣何郡市何町村何番地 何斤 明治何年何月何日 |
| 仕拂命令 | 明治何年何月何日 | 何府縣何郡市何町村何番地 何斤 明治何年何月何日 |
| 申請人住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 申請事項 | 鹽用途 鹽使用數量 鹽使用年月日 | 何府縣何郡市何町村何番地 何斤 明治何年何月何日 |
| 申請年月日 | 明治何年何月何日 | 何府縣何郡市何町村何番地 何斤 明治何年何月何日 |
| 局(所)長 | 調査 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 證明書 | 證明年月日 | 明治何年何月何日 |
| 第何號 | 鹽使用證明申請書 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 申請人住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 申請事項 | 鹽用途 鹽使用數量 鹽使用年月日 | 何府縣何郡市何町村何番地 何斤 明治何年何月何日 |
| 申請年月日 | 明治何年何月何日 | 何府縣何郡市何町村何番地 何斤 明治何年何月何日 |
| 局(所)長 | 調査 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 證明書 | 證明年月日 | 明治何年何月何日 |
| 第何號 | 鹽使用證明申請書 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 申請人住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 | 何府縣何郡市何町村何番地 |

第十九號書式 (輪廓乙甲縦六寸横四寸五分)

| | | |
|---------|---------------------------------|--------------------------------|
| 第何號 | 交付金下付請求書 | |
| | 請求年月日 | 明治何年何月何日 |
| 請求事項 | 鹽用途 鹽使用場所 鹽使用數量 鹽使用年月日 | 何府縣何郡市何町村何番地 何斤 明治何年何月何日 |
| 局(所)長 | 現品検査 | 何府縣何郡市何町村何番地 何斤 明治何年何月何日 |
| 仕拂命令 | 明治何年何月何日 | 何府縣何郡市何町村何番地 何斤 明治何年何月何日 |
| 申請人住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 申請事項 | 鹽用途 鹽使用數量 鹽使用年月日 | 何府縣何郡市何町村何番地 何斤 明治何年何月何日 |
| 申請年月日 | 明治何年何月何日 | 何府縣何郡市何町村何番地 何斤 明治何年何月何日 |
| 局(所)長 | 調査 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 證明書 | 證明年月日 | 明治何年何月何日 |
| 第何號 | 鹽使用證明申請書 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 申請人住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 | 何府縣何郡市何町村何番地 |

第二章 專賣法ノ制定

第二十號書式 (輪廓^甲乙^乙縦六寸横四寸五分)

| | | | | | | | |
|---------|-------------------|------|--------------------------|-------|----------|----|----------------------------|
| 申請人住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 何 | 申請事項 | 鹽使用數量 鹽使用場所 鹽使用年月日 | 申請年月日 | 明治何年何月何日 | 右證 | 明 ^ス 明治何年何月何日 |
| 申請人住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 何 | 申請事項 | 鹽使用數量 鹽使用場所 鹽使用年月日 | 申請年月日 | 明治何年何月何日 | 右證 | 明 ^ス 明治何年何月何日 |

| | | | | | | | |
|---------|-------------------|------|--------------------------|-------|----------|----|----------------------------|
| 申請人住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 何 | 申請事項 | 鹽使用數量 鹽使用場所 鹽使用年月日 | 申請年月日 | 明治何年何月何日 | 右證 | 明 ^ス 明治何年何月何日 |
| 申請人住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 何 | 申請事項 | 鹽使用數量 鹽使用場所 鹽使用年月日 | 申請年月日 | 明治何年何月何日 | 右證 | 明 ^ス 明治何年何月何日 |

| | | | | | | | |
|---------|-------------------|------|--------------------------|-------|----------|----|----------------------------|
| 申請人住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 何 | 申請事項 | 鹽使用數量 鹽使用場所 鹽使用年月日 | 申請年月日 | 明治何年何月何日 | 右證 | 明 ^ス 明治何年何月何日 |
| 申請人住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 何 | 申請事項 | 鹽使用數量 鹽使用場所 鹽使用年月日 | 申請年月日 | 明治何年何月何日 | 右證 | 明 ^ス 明治何年何月何日 |

第二十一號書式 (輪廓縦六寸横四寸五分)

出漁申告書

何府縣何郡市何町村何番地
何
某

| | | | | | | |
|-----------------------|-------------------|-------------------|---------|---------|----|----------------------------|
| 局 (所) 長 ④ | 申告 年 月 日 | 積載 鹽 數 量 | 出漁 地 | 寄港 地 | 船名 | 所 告 氏 名 住 名 |
| 檢 査 年 月 日 | 明治何年何月何日 | 何斤 | 何 | 何 | 何 | |
| 交付金下付申請年月日 | 明治何年何月何日 | | | | | |
| 調 査 品 ④ | 現 査 品 ④ | | | | | |

第二十二號書式 (鹽出納簿)

| 倉 | | 庫 | |
|---------|------|-----|----|
| 拂 | | 殘 | |
| 包裝數 | 數量 | 包裝數 | 數量 |
| 何斤俵 100 | 5000 | | |

第二十三號書式 (輪廓縦六寸横四寸五分)

| 局 (所) 長 鑑 定 秤 量 鹽 會 計 官 史 | 何 等 級 何 斤 何 程 | 何 等 級 何 斤 何 程 | 第 何 號 等 級 變 更 票 | 備 考 | 年 月 日 | | 摘 要 | 受 | |
|--|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|---|-------|----|--------------------|---------|------|
| | | | | | 何月 | 何日 | | 包 裝 數 | 數 量 |
| | | | | 一 本簿ハ便宜倉庫別等級別ノ口座及各合計並總計ノ口座ヲ設クヘシ 二 本簿ハ日計又ハ月計ヲ付スヘシ | 何月 | 何日 | 收 第 何 號 賣 第 何 號 | 何斤俵 100 | 5000 |
| | | | | | | | | | |

明治何年何月何日鹽出納簿登記濟

第二十四號書式 (輪廓縦六寸横九寸)

第何號

(鹽製造許可臺帳)

| | |
|--------------|--|
| 製造人住所氏名又ハ名稱印 | 何郡市何町村大字何番地 何 某 ㊤ |
| 管理人住所氏名印 | (何郡市何町村大字何番地) 何 某 ㊤ |
| 製鹽方 法 | 鹽田入濱製鹽 |
| 採鹹地名及地番 | 何郡市何町村大字何番地 |
| 製鹽段 別 | 鹽田何町何段何畝歩 |
| 製鹽場 位置 | 何郡市何町村大字何番地 |
| 鹹水又ハ鹹砂貯藏場位置 | 何郡市何町村大字何番地 |
| 製鹽貯藏場位置 | 何郡市何町村大字何番地 |
| 生產見込高 | 自明治何年何月何日 何日分何程 至明治何年三月三十一日 何日分何程 一 箇 年分何程 |
| 出願年月日 | 明治何年何月何日 |
| 指令年月日 | 明治何年何月何日 |
| 要 摘 | |

備考

- 一 再製鹽ハ原料鹽ノ見込數量ヲ摘要欄ニ記入スヘシ
- 二 試製鹽ハ試製ナルコト及其ノ期間ヲ摘要欄ニ記入スヘシ
- 三 自家用鹽ハ其ノ數量ヲ生產見込高欄ニ内書附記スヘシ
- 四 本臺帳ハ鹽製造許可願書ヲ以テ代用スルコトヲ得

第二十五號書式 (輪廓縦八寸横一尺)

(鹽製造高臺帳)

| | |
|----------|-------------|
| 製造場所 | 何郡市何町村大字何番地 |
| 一箇年生產見込高 | 何 程 |
| 何 | 何郡市何町村大字何番地 |
| 何 | 某 |

| 月 日 | 摘要 | 製 | | | | | 造 | | | | | 備考 | |
|--------|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|--|
| | | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | | |
| 何月何日 | 納付書第何號 | | | | | | | | | | | | |
| 何月何日 | 自家用申告 | | | | | | | | | | | | |
| 何月何日 | 損害申告高 | | | | | | | | | | | | |

備考

- 一 再製鹽製造高ハ計ノ欄ニ記入シ其ノ使用原料高ヲ備考ニ記入スヘシ但シ再製鹽ニシテ納付スヘキモノハ其ノ數量ヲ等級別ニ記入スヘシ
- 二 自家用鹽アルトキハ一箇年生産見込高欄ニ内書附記スヘシ
- 三 本臺帳ハ月計及累計ヲ付スヘシ
- 四 本臺帳ハ市町村別ニ計ヲ付シ更ニ全管計ヲ付スヘシ

第二十六號書式 (輪廓縦八寸横一尺)

(鹽輸入高臺帳)

| 區 別 | 年 月 日 | 產 地 | 種 類 | 品 質 | 數 量 | 單 價 | 請 價 | 取 扱 人 | 住 所 | 氏 名 | 備 考 |
|------------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------|--------|--------|--------|
| | | | | | | | | | | | |
| 受 入 命 令 | 明治何年何月何日 | 何 國 | 何 鹽 | 何 斤 | 何 程 | 何 斤 | 何 程 | 何 斤 | 何 程 | 何 斤 | 何 程 |
| 摘 要 | 明治何年何月何日 | 何 國 | 何 鹽 | 何 斤 | 何 程 | 何 斤 | 何 程 | 何 斤 | 何 程 | 何 斤 | 何 程 |

備考

- 一 摘要欄ニハ輸入命令番號其ノ他必要ノ事項ヲ記入スヘシ
- 二 本臺帳ハ月計及累計ヲ付スヘシ

第二十七號書式 (輪廓縦八寸横一尺)

(鹽移入高臺帳)

| 移 入 番 號 | 等 級 | 包 裝 | 數 量 | 仕 拂 金 額 | 受 渡 年 月 日 | 賣 渡 代 金 | 納 付 金 額 | 納 入 告 知 年 月 日 | 備 考 |
|------------------|--------|--------|--------|------------------|-----------------------|------------------|------------------|---------------------------------|--------|
| 第 何 號 | 何 等 | 何 | 何 斤 | 何 程 | 明治何年何月何日 | 何 程 | 何 程 | 明治何年何月何日 | |

第二十八號書式

備考

一本亭帳八月計及累計ヲ付スヘシ

| 數量 | | | 支出金額 | 收入金額 | 損 | 益 | 殘量原價 | 備考 |
|---------|--------|---------|------------|------------|----------|------------|------------|------------------|
| 受 | 拂 | 殘 | | | | | | |
| 170,000 | | | 1,437 00 0 | | | | | |
| 90,000 | | | 762 00 0 | | | | | |
| | 80,000 | | | 1,822 00 0 | | 1,184 00 0 | | |
| | 20,000 | | | 212 00 0 | | 36 00 0 | | |
| 20,000 | 20,000 | | 164 00 0 | 460 00 0 | | 296 00 0 | | |
| | | | 650 00 0 | | 650 00 0 | | | |
| | | | | 130 00 0 | | 130 00 0 | | |
| 10,000 | | | | | | 95 00 0 | | |
| 10,000 | | | | | | 76 00 0 | | |
| | 10,000 | | | | 88 00 0 | | | |
| | 10,000 | | | | 95 00 0 | | | |
| | | 160,000 | | | | 14 00 0 | 1,387 00 0 | 二万斤三等ヲ 二等ニ變更ス |
| 40,000 | | | 352 00 0 | | | | | |

(鹽受拂整理簿)

(途用)何

| | | | | | | | | | | |
|--------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------------------------|
| 年 月 日 | 何 等 級 | 何 斤 | 何 斤 | 何 斤 | 何 斤 | 何 程 | 何 程 | 何 程 | 何 程 | 何 府縣何 市何町 村何番 地 某 |
| 明治何年 何月何日 | | | | | | | | | | |
| 明治何年 何月何日 | | | | | | | | | | |
| 明治何年 何月何日 | | | | | | | | | | |
| 明治何年 何月何日 | | | | | | | | | | |

第三十號書式 (輪廓縦八寸横一尺)

| | | | |
|--------------|---|-----------------------|--------|
| 製 場 所 | 何 郡 市 何 町 村 大 字 何 番 地 | 製 造 人 氏 名 | 何 |
| 申 告 | 何 | 氏 名 | 某 |
| 年 月 日 | 數 量 | 引 | 備 考 |
| 明治何年 何月何日 | 何 斤 | 年 月 日 | |
| | | 數 量 | |
| | | 何 斤 | |

(特別定價鹽賣渡整理簿)

第二十九號書式 (輪廓縦六寸横九寸)

(指定引渡人鹽製造申告簿)

備考

- 一 本簿ハ收納鹽、輸入鹽、移入鹽ニ分チ口座ヲ設クヘシ
- 二 本簿摘要欄ハ左ノ事由別ヲ以テ記入スヘシ
- 三 收納輸入、移入、指定引渡、賣渡、特別定價賣渡、交付金、追徴、不用標本受入、沒收量、増標本用拂出、棄却、亡失、量減、等級變更
- 四 本簿ハ月計及累計ヲ記入スヘシ

| | |
|-------------|--------|
| 年 月 日 | 摘 要 |
| 四月一日 | 越 高 |
| ク | 收納二件 |
| ク | 賣 渡 |
| ク | 特別定價賣渡 |
| ク | 指定引渡三件 |
| ク | 交付金二件 |
| ク | 追 徴 |
| ク | 不用標本受入 |
| ク | 沒 收 |
| ク | 亡 失 |
| ク | 量 減 |
| ク | 等級變更 |
| ク | 二日 收 納 |

備考

第三十一號書式 (輪廓縦八寸横一尺)

| | | | | | |
|----------------------|-----------------------|----------------|--------|-------------|-------------------|
| 年 月 日 | 摘 要 | 納 期 | 延 納 | 代 金 | 備 考 |
| 明治何年 何月何日 何月何日 | 賣渡請求書第何號 領取濟通知書第何號 | 何月何日限 何月何日限 | 何 程 | 收入濟額 現在額 | 何府縣何都市何町村何番地 某 |
| | | | | | (延納代金整理簿) |

第三十二號書式 (輪廓縦八寸横一尺)

| | | | |
|----------------------|-----------------|-------------------------------------|-------------------|
| 年 月 日 | 摘 要 | 擔 保 物 件 | 備 考 |
| 明治何年 何月何日 何月何日 | 何々用賣渡 何々ニ付解除 | 供託受領 證書號 種類 受物 拂件 現在 | 何府縣何都市何町村何番地 某 |
| | | | (擔保物件整理簿) |

備考

第三十三號書式 (輪廓縦六寸横九寸)

一本簿摘要欄ニハ代金延納擔保、外國鹽賣渡請求擔保、溜醬油釀造用擔保、鹽藏用擔保ノ區別ヲ明ニスヘシ

(鹽專賣法違反者處分簿)

第何號

何府縣何都市何町村何番地職業

某

| | | | | | | |
|--------|--------|-----------------|-------------|-------------|-------------|-----------------------|
| 犯 則 | 事 實 | 場 所 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 履 行 年 月 日 |
| | 何々 | 何府縣何都市何町村大字何何番地 | 明治何年何月何日 | 明治何年何月何日 | 明治何年何月何日 | 明治何年何月何日 |

第二章 專賣法ノ制定

| 特別定價賣渡何件 | | 備考 |
|----------|------|-------|
| 價額 | | |
| 50 | 00 0 | 輸出 |
| 100 | 00 0 | 醬油釀造用 |
| 150 | 00 0 | |
| 94 | 00 0 | 魚類鹽藏用 |
| 244 | 00 0 | |

第三十四號書式 (輪廓縦四寸五分横六寸)

(日計箋)

明治何年何月何日鹽受拂整理簿記帳濟

備考

一 沒收欄ニハ金額ノ外其ノ品目及數量ヲ記入スヘシ

| 備考 | 處分 | 告發 | | | | | | | 通告 | | | | | |
|----|----|--------|----|-----|----|------|----------|--------------|------|----------|----|-----|----|--------------|
| | | 無罪又ハ起訴 | 沒收 | 追徴金 | 罰金 | 裁判所名 | 判決年月日 | 適用條項 | 告發事由 | 年月日 | 沒收 | 追徴金 | 罰金 | 該當條項 |
| | 何程 | 何 | 何程 | 何程 | 何程 | 何裁判所 | 明治何年何月何日 | 鹽專賣法第何條第何項適用 | 何々 | 明治何年何月何日 | 何程 | 何程 | 何程 | 鹽專賣法第何條第何項該當 |

分 表

| 生産見込高 | | 備 考 |
|------------------------|------|-----|
| 自明治何年何月何日 至翌年三月三十一日 | 一箇年分 | |
| | | |

第三十五號書式 (輪廓縦六寸横九寸)

八 交付金下付請求書ノ日計箋ニハ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第十九條第一號、同第二號、同第三號、同第四號ノ區別ヲ明ニスヘシ

七 代金追徴ノ日計箋ニハ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第九條第一項、同第十二條、第十五條、第十六條第一項、同第二項等ノ區別ヲ明ニスヘシ

六 等級變更票ノ日計箋ニハ受入當時ノ等級價格ト變更ノ等級價格トヲ明ニスヘシ

五 鹽拂出票ノ日計箋ニハ標本用拂出、棄却、亡失、量減等ノ區別ヲ明ニスヘシ

四 鹽代金追徴ニ關スル書類ハ金庫ヨリ領收通知アリタル日ヲ以テ整理シ日計箋ニハ賣渡鹽ノ等級、用途及追徴スヘキ鹽ノ斤數ヲ明ニスヘシ

三 鹽受入票ノ日計箋ニハ不用標本受入、沒收、量増等ノ區別ヲ明ニスヘシ

二 鹽引渡命令書ハ復命ノ日ヲ以テ整理シ備考ニ引渡年月日ヲ記入スヘシ但シ會計年度ヲ異ニスルトキハ引渡命令ヲ終リタル年度ヲ以テ整理スヘシ

一 賣渡請求書ハ收納鹽、輸入鹽移入鹽ヲ區別シテ日計箋ヲ附シ特別定價賣渡ニアリテハ其ノ用途ヲ備考ニ記入スヘシ

備考

| 明治何年何月何日 | | |
|----------|--------|--------|
| 等級 | 數量 | 單 價 |
| 三 等 | 5,000 | 1 00 0 |
| 同 計 | 10,000 | 1 00 0 |
| 四 等 | 15,000 | |
| 合 計 | 10,000 | 94 0 |
| | 35,000 | |

第三十六號書式
(輪廓縦六寸横九寸)

生産見込高報告表

| 一箇年分生 産見込高 | 結晶釜 | | 備考 | 事項 | 製鹽場所 在町村名 | 製鹽方法 | 製造人員 | 製造場數 | 製鹽段別 |
|---------------|-----|----|----|--------|--------------|------|------|------|------|
| | 種類 | 個數 | | | | | | | |
| | | | | 許可 | | | | | |
| | | | | 同 (試製) | | | | | |
| | | | | 同 (再製) | | | | | |
| | | | | 同計 | | | | | |
| | | | | 許可取消 | | | | | |
| | | | | 同 (試製) | | | | | |
| | | | | 同計 | | | | | |
| | | | | 廢止(再製) | | | | | |
| | | | | 不許可 | | | | | |

第二章 專賣法ノ制定

何 月 分
報 告 表

第三十七號書式
(輪廓縦六寸横九寸)

明治何年何月何日現在

鹽製造場數人員

| 計 | 再 製 | | 備 考 |
|---|-----|----|-----|
| | 原料 | 製品 | |
| | | | |

備考

- 一 試製及再製ハ之ヲ區別シテ其ノ旨ヲ備考ニ附記スヘシ
- 二 著シキ増減アリタルトキハ其ノ事由ヲ備考ニ附記スヘシ

| 製鹽場所在 郡市町村名 | 製鹽方法 | 製造人員 | 製造場數 | 製鹽段別 |
|----------------|------|------|------|------|
| | | | | |

治何年何月分
造高等級別報告表

第三十八號書式
(輪廓縦六寸横九寸)

明治何年
鹽製造高

第二章 專賣法ノ制定

| 二等 | 三等 | 四等 | 五等 | 計 | 備考 |
|----|----|----|----|---|----|
| | | | | | |

備考

一試製及再製ハ之ヲ區別シテ其ノ旨ヲ備考ニ附記スヘシ

| 產地別 | 納付 | 指定引渡 | 自家用 |
|--------|----|------|-----|
| 何郡市何町村 | | | |
| 何郡市何町村 | | | |
| 計 | | | |
| 累計 | | | |

明治何年何月分
鹽輸入高報告表

明製鹽

第三十九號書式
(輪廓縦六寸横九寸)

備考

一試製及再製ハ之ヲ區別シテ其ノ旨ヲ備考ニ附記スヘシ

| 輸入取扱人氏名 | 産地 | 種類 | 品質 | 數量 | 請負價額 | | 備考 | 産地別 | 一等 |
|---------|----|----|----|----|------|----|----|--------|----|
| | | | | | 圓 | 錢厘 | | | |
| | | | | | | | | 何郡市何町村 | |
| | | | | | | | | 何郡市何町村 | |
| | | | | | | | | 計 | |
| | | | | | | | | 累計 | |

明治何年何月分
鹽受拂等級別報告表

第四十二號書式
(輪廓縦六寸横九寸)

明治何年何月
鹽受拂報告

| 一等 | 二等 | 三等 | 四等 | 五等 | 等外 | 計 |
|----|----|----|----|----|----|---|
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 受拂 | 一等 | 二等 | 三等 | 四等 | 五等 | 計 |
|----|----|----|----|----|----|---|
| 一等 | | | | | | |
| 二等 | | | | | | |
| 三等 | | | | | | |
| 四等 | | | | | | |
| 五等 | | | | | | |
| 計 | | | | | | |

備考
一本表ハ收納鹽輸入鹽移入鹽ニ分チ別表トナスヘシ

| 摘要 | 數量 | | 摘要 |
|---|-----|----|---|
| | 本月分 | 累計 | |
| 越 高 受 入 收 納 沒 收 指 定 引 渡 何 何 計 出 拂 賣 何 何 何 何 計 引 差 現 | | | 越 高 收 入 賣 渡 特 別 定 價 賣 渡 指 定 引 渡 何 何 計 出 支 出 收 納 指 定 引 渡 何 何 計 引 損 益 損 分 益 分 差 引 現 在 |

分
告 表

| 延納代金現在額 | | | 備 考 |
|---------|---|---|-----|
| 圓 | 錢 | 厘 | |
| | | | |

第四十五號書式
(輪廓縦六寸横九寸)

明 治 何 年 度
鹽 專 賣 計 算 報 告 表

| 摘 要 | 支 出 | | | 收 入 | | |
|-------------|--------|----|---|--------|----|---|
| | 圓 | 錢 | 厘 | 圓 | 錢 | 厘 |
| 某 年 度 歲 入 | | | | | | |
| 鹽 專 賣 收 入 | | | | 66,000 | 00 | 0 |
| 諸 收 入 | | | | 495 | 00 | 0 |
| 收 入 未 濟 額 | | | | 5 | 00 | 0 |
| 計 | | | | 66,500 | 00 | 0 |
| 翌年度繰越鹽ノ價額 | | | | 1,990 | 00 | 0 |
| 某 年 度 歲 出 | | | | | | |
| 鹽 賠 償 金 | 20,000 | 00 | 0 | | | |
| 交 付 金 | 990 | 00 | 0 | | | |
| 諸 經 費 | 40,000 | 00 | 0 | | | |
| 前年度ヨリ繰越鹽ノ價額 | 2,500 | 00 | 0 | | | |
| 前年度收入未濟額 | 500 | 00 | 0 | | | |
| 計 | 63,990 | 00 | 0 | | | |
| 差 引 益 | 4,500 | 00 | 0 | | | |
| | | | | 68,490 | 00 | 0 |
| | | | | 68,490 | 00 | 0 |

第四十四號書式
(輪廓縦六寸横九寸)

備 考

一本表ハ收納鹽輸入鹽移入鹽ニ分子別表トナスヘシ

| 摘 要 |
|-----------------------------|
| 輸 出 鹽油釀造用 何 何 何 計 累 計 |

告 表

第四十六號書式 (輪廓縦六寸横九寸)

| 沒收品價額 | | 追 徴 金 | | 犯 則 處 分 費 | | 備 考 |
|-------|-----|-------|-----|-----------|-----|-----|
| 圓 | 錢 厘 | 圓 | 錢 厘 | 圓 | 錢 厘 | |
| | | | | | | |

備 考

一 本表ハ收納鹽、輸入鹽、移入鹽ニ分チ別表トナスヘシ
 二 輸入鹽、移入鹽ノ代金仕拂未済アリタルトキハ其ノ金額及之ニ對スル鹽ノ數量ヲ備考ニ記入スヘシ

| 摘 要 | 代金延納許可額 | | 延納代金收入済額 | |
|----------------------------------|---------|-----|----------|-----|
| | 圓 | 錢 厘 | 圓 | 錢 厘 |
| 輸 出 醬 油 釀 造 用 何 何 計 累 計 | | | | |

明治何年何月分
鹽專賣法違犯者處分報

| 摘要 | 通告履行者 | 直ニ告發シタルモノ | | 通告不履行ニ付告發シタルモノ | | 犯罪ノ心證ヲ得サルモノ | 罰金 | |
|--------|-------|-----------|--------|----------------|--------|-------------|----|----|
| | | 有罪 | 無罪及不起訴 | 有罪 | 無罪及不起訴 | | 圓 | 錢厘 |
| 法第何條該當 | | | | | | | | |

検査監視及犯則處分手續

検査監視竝犯則處分等ニ關スル手續ハ各鹽務局ニ於テ各其ノ實狀ヲ異ニスルモノアリテ寧ロ各局ヲシテ適切ナル規定ヲ設ケシメ之ニ依リ執行セシムルヲ可トシ左ノ通牒ヲ發シタリ

大藏省主稅局長通牒無號 (明治三十八年五月六日)

鹽專賣法ニ依ル検査監視執行ニ關スル手續ハ便宜貴局ニ於テ定メラルヘク尙又同法違犯者處分ニ關スル取扱手續モ間接國稅ノ制ニ準シ貴局ニ於テ制定相成度此段及通牒候也

醬油釀造用鹽使用證明

醬油釀造用ノ鹽ハ特別定價ヲ以テ賣渡スコトト爲シタルヲ以テ其ノ賣渡後ニ於テ果シテ釀造ニ使用シタルヤ否ヤヲ確認スルノ必要アリ即チ賣渡後一箇年以内ニ稅務署ノ證明ヲ以テ釀造ニ使用シタルコトヲ證セシムルコトトナシタリ若シ其ノ期間内ニ使用濟ニ至ラサルトキハ稅務署ニテ使用未濟ノ鹽ノ検査ヲ受ケシメ賣渡數量ニ對シ不足アルトキハ其ノ數量ニ對シテハ低減シタル金額ノ追徴ヲ爲スコトトシ若シ又一般定價ニテ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ醬油釀造ニ使用シタルトキハ稅務署ノ證明ニ依リ之ヲ認ムルコトトシ其ノ數量ニ對シ價格低減ノ趣旨ニ依リ交付金ヲ下付スルコトト爲シタリ即チ此等使用ニ關スル調査確認ハ便宜上稅務署ヲシテ管掌セシムルコトトナシタルヲ以テ其ノ事務取扱方ニ付稅務監督局及稅務署ニ對シ左ノ訓令ヲ爲シタリ

大藏省訓令第四十一號 (明治三十八年五月九日)

△稅務監督局
鹽務局

明治三十八年勅令第五百五十七號ニ依リ醬油釀造ニ使用スル鹽ノ使用證明ニ關シ稅務署事務取扱方左ノ通心得ヘシ

第一條 醬油釀造ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ノ使用承認ヲ申請セムトスル者アルトキハ第一號甲書式ニ依リ買受年月日、數量、賣渡鹽務局名及使用ノ年月日、數量、場所ヲ記載シタル鹽使用承認申請書ヲ提出セシムヘシ

前項ノ申請アリタル場合ニ於テ稅務署ハ醬油製造検査簿又ハ鹽務局ヨリ發シタル鹽賣渡通知書等ニ照査シ不都合ナシト認メタルトキハ使用ノ承認ヲ與ヘ其ノ使用ニ付相當ノ監視ヲ

施シ使用ノ事實ヲ確認スヘシ

第二條 前條ノ醬油釀造者鹽使用濟證明書ノ交付ヲ申請セムトスルトキハ第一號甲書式ノ申請書ヲ提出セシメ同號乙書式ノ證明書ヲ交付シ之ト同時ニ同號丙書式ニ依リ其ノ旨ヲ賣渡鹽務局ニ通知スヘシ

第三條 醬油釀造ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者其ノ未使用鹽ニ付承認ヲ申請スルトキハ第二號甲書式ニ依リ買受年月日、數量、賣渡鹽務局名及使用ノ年月日、數量、場所、未使用鹽ノ數量及事由ヲ記載シタル未使用鹽承認申請書ヲ提出セシメ鹽務局ヨリ發シタル鹽賣渡通知書及鹽使用濟證明申請書ニ照查シ其ノ未使用鹽ヲ検査シ同號乙書式ノ未使用鹽證明書ヲ交付シ之ト同時ニ同號丙書式ニ依リ其ノ旨ヲ賣渡鹽務局ニ通知スヘシ

第四條 第一條ノ證明ヲ受ケタル者ノ溜醬油ヲ査定シタルトキハ其ノ査定ト同時ニ殘存味噌ノ數量ヲ査定シ第三號書式ニ依リ醬油及味噌ノ査定數量、査定年月日ヲ記入シタル査定通知書ヲ賣渡鹽務局ニ送付スヘシ殘存味噌ナキトキハ査定通知書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第五條 味噌又ハ一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ以テ醬油釀造ニ使用シ其ノ使用證明ヲ申請セムトスル者アルトキハ第四號甲書式ニ依リ使用ノ年月日、數量及場所ヲ記載シタル使用證明申請書ヲ提出セシメ其ノ使用ヲ確認シ同號乙書式ノ使用證明書ヲ交付シ之ト同時ニ同號丙書式ニ依リ其ノ旨ヲ使用地所轄鹽務局ニ送付スヘシ

第六條 前條ノ證明ヲ受ケタル者ノ溜醬油査定ニ關シテハ第四條ノ規定ヲ準用ス但シ査定通知書ハ使用地所轄鹽務局ニ送付スヘシ

第七條 稅務署ハ第六號書式ノ鹽使用高臺帳ヲ設備シ醬油製造人別ニ整理シテ一箇年醬油製造見込高鹽及味噌使用見込高ヲ記載シ鹽賣渡通知高鹽及味噌使用高、未使用鹽承認高醬油及

味噌ノ査定高ノ記入ヲ爲スヘシ

第八條 削除

第九條 稅務署ハ第八號書式ニ依リ毎月末日鹽使用高報告表ヲ作成シ之ヲ稅務監督局ニ提出

シ稅務監督局ハ同號書式ニ依リ翌月二十日迄ニ之ヲ大藏省ニ提出スヘシ

稅務署ハ毎年未ニ於テ番醬油及自家用醬油ノ釀造ニ使用セル鹽ノ數量ヲ調査シテ第九號報

告表ヲ作成シ前項報告表ニ添付スヘシ

第一號書式 (輪廓^甲乙^丙縱六寸橫四寸五分)

(甲)

| | |
|---------------------|---|
| 鹽使用承認申請書(鹽使用濟證明申請書) | |
| 申請人 住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 某 [㊦] |
| 申請事項 | 鹽買受年月日及數量 賣渡鹽務局名 鹽使用年月日及數量 鹽使用場所 明治何年何月何日何斤 何鹽務局何出張所 明治何年 ^{自何月何日} 至何月何日何斤 何郡市何町村何番地 |
| 申請年月日 | 明治何年何月何日 |
| 署長 | 調 査 |
| | 證明年月日 通知年月日 |
| | 明治何年何月何日 明治何年何月何日 |

(乙)

| | |
|-------------|---|
| 鹽使用濟證明書 | |
| 申請人 住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 某 |
| 申請事項 | 鹽買受年月日及數量 賣渡鹽務局名 鹽使用年月日及數量 鹽使用場所 明治何年何月何日何斤 何鹽務局何出張所 明治何年 ^{自何月何日} 至何月何日何斤 何郡市何町村何番地 |

| | | |
|------------------|----|----------|
| 年 月 日 | 申請 | 明治何年何月何日 |
| 右證明 明治何年何月何日 | | |
| 何 稅 務 署 | | 印 |

(丙)

| | | |
|------------------|-----|---|
| 年 月 日 | 申請 | 明治何年何月何日 |
| 住 所 氏 名 | 申請人 | 醬油製造人 |
| 事 項 | 申請 | 鹽 使 用 濟 通 知 書 |
| 年 月 日 | 申請 | 明治何年何月何日 |
| 住 所 氏 名 | 申請人 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 事 項 | 申請 | 鹽 使 用 受 年 月 日 及 數 量 賣 渡 鹽 務 局 名 鹽 使 用 年 月 日 及 數 量 鹽 使 用 場 所 |
| 年 月 日 | 申請 | 明治何年何月何日 |
| 住 所 氏 名 | 申請人 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 事 項 | 申請 | 何鹽務局何出張所 明治何年自何月何日何斤 何郡市何町村何番地 |
| 年 月 日 | 申請 | 明治何年何月何日 |
| 住 所 氏 名 | 申請人 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 事 項 | 申請 | 未 使 用 鹽 承 認 申 請 書 |
| 年 月 日 | 申請 | 明治何年何月何日 |
| 住 所 氏 名 | 申請人 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 事 項 | 申請 | 鹽 使 用 受 年 月 日 及 數 量 賣 渡 鹽 務 局 名 鹽 使 用 年 月 日 及 數 量 鹽 使 用 場 所 未 使 用 鹽 數 量 同 事 由 |
| 年 月 日 | 申請 | 明治何年何月何日 |
| 住 所 氏 名 | 申請人 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 事 項 | 申請 | 何鹽務局何出張所 明治何年自何月何日何斤 何郡市何町村何番地 |
| 年 月 日 | 申請 | 明治何年何月何日 |
| 住 所 氏 名 | 申請人 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 事 項 | 申請 | 何 稅 務 署 |
| 年 月 日 | 申請 | 明治何年何月何日 |
| 住 所 氏 名 | 申請人 | 某 |
| 事 項 | 申請 | 印 |

第二號書式

(輪廓^甲縦六寸五分横四寸五分)

(甲)

| | | |
|------------------|-----|---|
| 年 月 日 | 申請 | 明治何年何月何日 |
| 住 所 氏 名 | 申請人 | 醬油製造人 |
| 事 項 | 申請 | 鹽 使 用 濟 通 知 書 |
| 年 月 日 | 申請 | 明治何年何月何日 |
| 住 所 氏 名 | 申請人 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 事 項 | 申請 | 鹽 使 用 受 年 月 日 及 數 量 賣 渡 鹽 務 局 名 鹽 使 用 年 月 日 及 數 量 鹽 使 用 場 所 未 使 用 鹽 數 量 同 事 由 |
| 年 月 日 | 申請 | 明治何年何月何日 |
| 住 所 氏 名 | 申請人 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 事 項 | 申請 | 何鹽務局何出張所 明治何年自何月何日何斤 何郡市何町村何番地 |
| 年 月 日 | 申請 | 明治何年何月何日 |
| 住 所 氏 名 | 申請人 | 何府縣何郡市何町村何番地 |
| 事 項 | 申請 | 何 稅 務 署 |
| 年 月 日 | 申請 | 明治何年何月何日 |
| 住 所 氏 名 | 申請人 | 某 |
| 事 項 | 申請 | 印 |

(乙)

| | | | |
|-------|--|--|-------|
| 申請人 | 未使用鹽證明書 | 何府縣何都市何町村何番地 何 | 某 |
| 住所氏名 | 鹽油製造人 | | |
| 申請 | 購買受年月日及數量 賣渡鹽務局名 鹽使用年月日及數量 鹽使用場所 未使用鹽數量 同事由 | 明治何年何月何日何斤 何鹽務局何出張所 明治何年自何月何日何斤 何都市何町村何番地 何斤 | |
| 事項 | | | |
| 申請年月日 | 明治何年何月何日 | | |
| 申請 | 右證明ス | | |
| 申請 | 明治何年何月何日 | | |
| 申請 | | 何 | 稅務署 印 |

(丙)

| | | | |
|-------|--|--|-------|
| 申請人 | 未使用鹽通知書 | 何府縣何都市何町村何番地 何 | 某 |
| 住所氏名 | 醬油製造人 | | |
| 申請 | 購買受年月日及數量 賣渡鹽務局名 鹽使用年月日及數量 鹽使用場所 未使用鹽數量 同事由 | 明治何年何月何日何斤 何鹽務局何出張所 明治何年自何月何日何斤 何都市何町村何番地 何斤 | |
| 事項 | | | |
| 申請年月日 | 明治何年何月何日 | | |
| 申請 | 右證明書交付候ニ付通知候也 | | |
| 申請 | 明治何年何月何日 | | |
| 申請 | | 何 | 稅務署 印 |

第三號書式 (輪廓縱六寸横四寸五分)

溜醬油査定通知書

第二章 專賣法ノ制定

| | | |
|---|-------------------|-------------|
| 醬油製造人 住所氏名 | 何府縣何郡市何町村何番地 何 | 某 |
| 查定 事項 | 生引溜査定數量 味噌査定數量 | 何石 何斤(無) |
| 査定 年月日 | 明治何年何月何日 | |
| 右通知候也 明治何年何月何日 | | |
| 備考 一 査定事項ニハ特別定價ニ關スルモノト一般定價鹽ニ關スルモノトヲ區分記入スヘシ 明治何年何月何日 | | |
| 何稅務署 ㊦ | | |

第四號書式 (輪廓 丙乙甲 縱六寸橫四寸五分)

| | | | |
|-------------|----------------------------|----------------------------|----------|
| 申請人 住所氏名 | 鹽(味噌)使用證明申請書 醬油製造人 | 何府縣何郡市何町村何番地 何 | 某 ㊦ |
| 申請事項 | 鹽(味噌)使用年月日及數量 鹽(味噌)使用場所 | 明治何年 自何月何日 何斤 何郡市何町村何番地 | |
| 申請年月日 | 明治何年何月何日 | | |
| 署長 | 調査 | 證明年月日 | 通知年月日 |
| | | 明治何年何月何日 | 明治何年何月何日 |

(乙)

| | | | |
|-------------|----------------------------|----------------------------|---|
| 申請人 住所氏名 | 鹽(味噌)使用證明書 醬油製造人 | 何府縣何郡市何町村何番地 何 | 某 |
| 申請事項 | 鹽(味噌)使用年月日及數量 鹽(味噌)使用場所 | 明治何年 自何月何日 何斤 何郡市何町村何番地 | |
| 申請年月日 | 明治何年何月何日 | | |

(甲)

第七號書式 削除

第八號書式 (輪廓縦六寸横九寸)

三 査定高ノ欄ニハ其ノ釀造ニ係ル總テノ醬油、生引溜、素引溜、ニ一ラ溜ノ査定高ヲ特別定價ノモノト一般定價ノモノトニ區分記入シ溜醬油
 ニ在リテハ殘存味噌ノ有無及査定高ヲ記入スヘシ
 四 特別定價賣渡ニ係ル鹽使用高未使用鹽承認高及査定高ニ在リテハ賣渡鹽務局ノ欄ニ鹽賣渡年月日及賣渡鹽務局名ヲ記入スヘシ

明治何年何月分

鹽 使 用 高 報 告 表

| 鹽 使 用 高 | 未使用鹽 承認高 | 味 噌 使用高 | 査定高 | | 製 造 場 數 | 製 造 人 員 | 醬油製造 見 込 高 | 鹽及味噌 使用見込 高 | 備 考 |
|------------|----------|---------|----------|----------|---------|---------|------------|--------------|-----|
| | | | 醬油 | 味噌 | | | | | |
| 何 斤 何 斤 | 何 斤 | 何 斤 | 何石 何石 | 何斤 何斤 | 何 程 | 何 程 | 何 石 | 鹽 何斤 味噌何斤 | |

何年何月何日

何稅務署長官氏名 ㊦

何 年 分
家用醬油鹽使用高報告表

| 自家用醬油 | | | | | 備 考 |
|-------|------|------|-------|------|-----|
| 鹽使用高 | 製造場數 | 製造人員 | 醬油製造高 | 鹽使用高 | |
| 何 程 | 何 程 | 何 程 | 何 石 | 何 程 | |
| | | | | | |

第九號書式
(輪廓縦六寸横九寸)

一 鹽使用高及査定高ノ欄ハ特別定價鹽ニ關スルモノト一般定價鹽ニ關スルモノトヲ區分記入スヘシ
二 製造場數、製造人員、醬油製造見込高、鹽及味噌使用見込高ハ一月分及七月分報告表ニ限り記入スヘシ

備考

| 郡市名 | 鹽賣渡通知書 |
|-----|--------------------|
| 何 郡 | 何鹽務局何出張所 (一般定價) |

日 何稅務署長官氏名 ㊦

明 治

リ發シタル鹽賣渡通知書ニ照査シ現品ヲ檢査シテ其ノ數量ヲ檢定スヘシ

第二條 前條ノ檢定ハ鹽ノ重量ヲ秤量シテ之ヲ定ムヘシ但シ同一包裝ニシテ同一數量ト認メラルル鹽ニ在リテハ百ニ付五ノ割合(百ニ付五ノ割合カ總數五十以上ニ上ルトキハ五十トス)ヲ以テ適宜包裝ヲ摘出シ其ノ數量ヨリ風袋量ヲ控除シ包裝數ニテ除シ之ヲ總包裝數ニ乘シテ鹽ノ數量ヲ定ムルコトヲ得

第三條 特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ノ輸出ヲ爲シタル者アルトキハ毎月末日第一號書式ニ依リ輸出年月日、輸出數量、輸出先及輸出者ノ氏名ヲ記入シタル輸出通知書ヲ賣渡鹽務局ニ送付スヘシ

第四條 一般定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者鹽ノ輸出申告書ヲ提出シタルトキハ現品ヲ檢査シ第二條ニ依リ其ノ數量ヲ檢定スヘシ

第五條 鹽藏シタル練又ハ鯖ノ輸出申告書ヲ提出シタルトキハ現品ヲ檢査シ第二條ニ準シ鹽藏魚類ノ重量ヲ檢定スヘシ

第六條 鹽又ハ鹽藏魚類ノ輸出ヲナシタル者交付金ノ下付ヲ請求セムトスルトキハ第二號書式ニ依リ鹽又ハ鹽藏魚類ノ數量、輸出先、積載船舶名、寄港地及輸出年月日ヲ記入シタル交付金下付請求書ヲ提出セシメ輸出申告書及明治三十八年勅令第一百五十七號第二十條ニ依リ提出スヘキ添附書類ヲ調査シ交付金下付ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 稅關ハ第三號書式ノ鹽及鹽藏魚類輸出整理簿ヲ設備シ鹽賣渡通知書、鹽及鹽藏魚類輸出申告書、交付金下付請求書等ニ依リ必要ノ事項ヲ記入スヘシ

第八條 稅關ハ毎月第四號書式ニ依リ鹽及鹽藏魚類輸出報告表ヲ調製シ翌月二十日マテニ大藏省ニ報告スヘシ

第一號書式 (輪廓縱六寸橫五寸)

特別定價鹽輸出通知書

| | | | | | |
|----------|------|-------|----------|-----|-----|
| 輸出年月日 | 輸出數量 | 輸出先地名 | 輸 出 者 | 住 所 | 氏 名 |
| 明治何年何月何日 | 何斤 | 何々 | 何府縣何郡市町村 | 何 | 何 |
| 明治何年何月何日 | 何斤 | 何 | 何府縣何郡市町村 | 何 | 何 |
| 明治何年何月何日 | 何斤 | 何 | 何府縣何郡市町村 | 何 | 何 |

明治何年何月何日
何鹽務局(何出張所)宛
何 稅 關 印

第二號書式

輸出鹽(輸出鹽藏魚類)交付金下付請求書

一 鹽(鹽水漬鱈又ハ鹽水漬鱈)何斤

輸 出 先 何々

船 舶 名 何々

寄 港 地 何々

輸 出 年 月 日 明治何年何月何日

右交付金何程御下付相成度別紙證明書類相添此段相願候也

明治何年何月何日

稅 關 長 宛

何府縣何郡市何町村何番地 某 印

第三號書式 (鹽及鹽藏魚類輸出整理簿)

| | |
|------|-----|
| 考 備 | 請 求 |
| 何程何程 | 金額 |

鹽及鹽藏魚類輸出報告表

| 區分 | 本月分 | 累計 | 備考 |
|----------|-----|----|----|
| 鹽務局通知 | 斤 | 斤 | |
| 何鹽務局 | | | |
| 何鹽務局何出張所 | | | |
| 輸出申告 | | | |
| 鹽 | | | |
| 鹽水漬鯖 | | | |
| 鹽水漬鯨 | | | |
| 鹽漬鯨 | | | |
| 交付金請求 | | | |
| 鹽 | | | |
| 鹽水漬鯖 | | | |
| 鹽水漬鯨 | | | |
| 鹽漬鯨 | | | |

備考

一本表交付金請求ニ在リテハ其ノ金額ヲ備考欄ニ記入スヘシ
一本表累計ハ四月ヨリ翌年三月ニ至ル分ヲ累次計上スヘシ

鹽稅

法第四十四條第二項鹽稅ノ賦課ニ關シテハ明治三十八年二月東京鹽問屋業者主唱トナリ全國同業者ニ檄シテ會同ヲ催シ法施行細則ニ對スル意見ヲ決議スルト共ニ之ニ關シ協議スル所アリ其ノ總代ハ本省ニ出頭シ鹽專賣法施行ノ際鹽販賣業者ノ所有シ又ハ所持スル鹽ニ對シ一定率ノ稅額ヲ課スルハ抽象的ニ之ヲ論スレハ何等間然スルナキカ如キモ之ヲ實地ニ運用シ嚴正ニ之ヲ執行セムコトハ頗フル難事ニシテ逋脫モ亦免カレサルノ虞アルヲ以テ織物消費稅ノ既製品課稅ニ倣ヒ徵稅豫定額ヲ以テ全國販賣業者ニ分割負擔セシムルコトニ決定セラレタシ右ハ當ニ徵稅上ニ於テ其ノ勞費ヲ省除スルノミナラス確實ニ收入ノ目的ヲ達シ得ヘキ良法ナリトノ趣旨ヲ以テ

明治何年何月何日何稅關長氏名圖

陳情書ヲ提出スルアリシモ若シ其ノ希望ヲ容ルルトセムカ鹽稅賦課ノ目的ニ反シ販賣業者ハ多量ノ見込買入ヲ爲スニ至ルヘク延テ收納鹽ヲ減スルノミナラス一時收納鹽賣行ノ澁滯ヲ來シ貯藏減耗ヲ醸ス等專賣收益ノ減收ヲ免カレサルヘク既成品ニ對スル織物消費稅ノ如キハ販賣後一箇年ヲ經テ收入スヘキ稅金ヲ即時ニ收入スルノ手段ヲ採リシモノニシテ鹽稅ハ之ニ反シ現年度ニ收入セムトスルモノニシテ其ノ趣ヲ異ニシ同一視スヘキモノニ非サルヲ以テ採用セサルコトニ決シ左ノ通之カ徵收規程ヲ決定公布シタリ

勅令第三百三十七號(明治三十八年四月十四日)

第一條 本令ハ鹽專賣法施行ノ際販賣ノ目的ヲ以テ所有シ又ハ所持スル鹽ニ關シ之ヲ適用ス
第二條 鹽ヲ所有シ又ハ所持スル者ハ明治三十八年六月五日迄ニ其ノ數量及所在ヲ鹽所在地ノ所轄稅務署ニ申告スヘシ

第三條 鹽ノ數量ハ鹽所在地ノ所轄稅務署之ヲ査定ス

第四條 鹽ヲ所有シ又ハ所持スル者ハ前條ノ査定數量ニ依リ明治三十八年六月三十日迄ニ其ノ鹽稅ヲ納ムヘシ
納稅者ハ前條ノ査定數量ヲ區分シ前項ノ期限内ニ於テ各區分ニ對スル鹽稅ヲ分納スルコトヲ得

第五條 鹽ヲ所有シ又ハ所持スル者ハ鹽稅ニ相當スル擔保ヲ提供シ三箇月以内鹽稅ノ延納ヲ請求スルコトヲ得

前項ニ依リ提供スヘキ擔保物ハ金錢又ハ稅務署長ノ適當ト認メタル有價證券ニ限ル
擔保ヲ提供セムトスル者ハ前項ノ擔保物ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ稅務署ニ提出スヘシ

第六條 收稅官吏又ハ鹽務官吏ハ必要ト認ムルトキハ鹽ノ貯藏場鹽ノ販賣場其ノ他鹽ノ所在

ト認ムル場所ニ立入り検査ヲ爲スコトヲ得

右鹽稅徵收事務ニ關スル取扱方ヲ左ノ如ク決定シ稅務監督局、稅務署及鹽務局ニ訓令シタリ

大藏省訓令第四十號（明治三十八年五月）

鹽稅徵收事務取扱規程

△稅務監督局、稅務署、鹽務局

第一條 稅務署ハ六月一日以前ト雖便宜ノ方法ヲ以テ販賣ノ目的ヲ以テ鹽ヲ所有シ又ハ所持

スル者ヲ調査シ置キ其ノ鹽ノ所在ニ注意シ鹽稅徵收上遺漏ナキヲ期スヘシ

第二條 鹽ノ數量ハ全部ノ重量ヲ秤量シテ之ヲ査定ス但シ包裝シタル鹽ニシテ各包裝ノ數量

略同一ナリト認メラル、モノニ付テハ包裝百箇ニ付五箇ノ割合ヲ以テ適宜包裝ヲ摘出シテ

秤量シ其ノ數量ヨリ風袋量ヲ控除シタルモノヲ包裝數ニテ除シ之ヲ全包裝數ニ乘シテ鹽ノ

數量ヲ査定スルコトヲ得

同一貯藏場ニ藏置スル鹽包裝數千箇以上ナルトキハ前項但書ニ依リ摘出スヘキ包裝數ハ五

十箇トス

第三條 稅務署ハ鹽稅ヲ課スヘキ鹽ノ數量ヲ査定シタルトキハ査定月日及其ノ數量ヲ第一號

書式ノ鹽稅臺帳ニ記入シ同時ニ第二號書式ニ依リ鹽査定數量ヲ納稅義務者ニ通知スヘシ

前項ノ鹽査定通知書ニハ鹽稅ヲ分納セムトスル者ハ通知後五日以内ニ査定數量ノ區分ヲ申

告スヘキ旨ヲ附記スヘシ

第四條 納稅者査定數量ノ區分ヲ申告シタルトキハ稅務署ハ其ノ區分額ヲ鹽稅臺帳ニ記入ス

ヘシ

第五條 前條ニ依リ査定數量ノ區分ヲ申告シタル者ハ其ノ區分額ニ依リ、其ノ區分ヲ申告セサ

ル者ハ査定數量ニ依リ納稅告知書ヲ調製シテ之ヲ納稅者ニ交付シ其ノ稅額及調定月日ヲ鹽稅臺帳ニ記入スヘシ

第六條 鹽稅ノ延納ヲ申請スル者アルトキハ稅務署ハ供託受領證ト共ニ第三號書式ノ鹽稅擔保提供書ヲ提出セシムヘシ

鹽稅ノ延納ヲ許可シタルトキハ稅務署ハ擔保提供月日延納稅額延納期限擔保物ノ種類金額又ハ價額供託金庫名供託受領證番號及供託月日ヲ第四號書式ノ鹽稅延納擔保物臺帳ニ記入シ延納期限ヲ鹽稅臺帳ニ記入スヘシ

第七條 納稅者鹽稅ヲ納付シタルトキハ稅務署ハ納付月日ヲ鹽稅臺帳ニ記入シ其ノ延納ニ係ルモノハ納稅額ニ相當スル擔保解除ノ手續ヲ爲シ其ノ月日ヲ鹽稅延納擔保物臺帳ニ記入スヘシ

第八條 稅務署ハ六月三十日迄ハ五日毎ニ七月一日ヨリハ十日毎ニ第五號書式ニ依リ鹽稅徵收狀況ヲ稅務監督局及所轄鹽稅局出張所ニ通知スヘシ

第九條 稅務監督局ハ六月三十日迄ハ十日毎ニ七月一日ヨリハ一箇月毎ニ第六號書式ニ依リ鹽稅徵收狀況ヲ大藏省ニ報告スヘシ

第十條 販賣ノ目的ニ非サルノ故ヲ以テ課稅セサリシ鹽ヲ多量ニ所有又ハ所持スル者ニ對シテハ鹽專賣法違犯ノ所爲ナキ様常ニ相當ノ監視ヲ爲スヘシ

第一號書式

鹽稅臺帳

| | |
|-------|---------|
| 査定月日 | 納稅者住所氏名 |
| 鹽査定數量 | |

| 鹽查定區分額 | 稅額 | 調定月日 | 延納期限 | 納稅月日 | 摘要 |
|--------|----|------|------|------|----|
| 斤 | 円 | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

備考

- 一 納稅者查定區分額ヲ申告セサルトキハ鹽查定區分額欄ニ斜線ヲ引クヘシ
- 一 延納ヲ許可セルトキハ其ノ月日ヲ摘要欄ニ記入スヘシ

第二號書式

鹽查定通知書

一 鹽查定數量
 右明治三十八年勅令第三百三十七號第三條ニ依リ查定ス
 但シ鹽稅ヲ分納セムトスル者ハ本書ノ日附ヨリ五日以内ニ查定數量ヲ區分シテ申告スヘシ

年 月 日

住 所

氏 名 宛

何 稅 務 署 長 印

第三號書式

印 紙

鹽稅擔保提供書

一 現金

(何公債證書又ハ何證券額面)

何 程

右ハ鹽查定額何程ノ鹽稅何程明治三十八年何月何日迄延納ノ分ニ對シ擔保トシテ別紙供託受領書ノ通提供候也

第六號書式

| | | 自何月何日 至何月何日 鹽稅徵收狀況報告書 | | | | | | |
|---------|------|-----------------------|-----|------|-----|-----|----|--|
| 區別 | 查定人員 | 查定數量 | 調定額 | 納稅人員 | 鹽數量 | 稅納額 | 摘要 | |
| 第一種 | | 斤 | 円 | | 斤 | 円 | | |
| 第二種 | | | | | | | | |
| 第三種 | | | | | | | | |
| 第四種 | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | |
| 累計 | | | | | | | | |
| 右報告候也 | | | | | | | | |
| 年 月 日 | | | | | | | | |
| 大藏大臣宛 | | | | | | | | |
| 何稅務監督局長 | | | | | | | | |

備考

區別欄ノ種類別ハ左ノ別ニ依リ記入スヘシ

第一種 延納及分納ヲ爲ササル者

第二種 六月三十日迄ニ分納セル者

第三種 延納ヲ爲シテ分納ヲ爲ササル者

第四種 延納ヲ爲シテ分納ヲ爲セル者

鹽稅徵收ニ關シ國稅徵收法規適用ニ付左ノ注意ヲ爲シタリ

大藏省主稅局長通牒第一七三五號 (明治三十八年五月一日)

△稅務監督局長

客月勅令第三百三十七號ヲ以テ鹽稅徵收ニ關スル件公布相成候處右ハ鹽稅ノ徵收ニ關スル特別ノ規定ニ候間該規定ノ外ハ總テ國稅徵收法規ヲ適用セラ
ルヘキハ勿論ノ議ニ候條右様御了知相成度右及通牒候也

間接國稅犯則者處分法モ亦鹽稅ニ適用スヘキヲ以テ同施行規則中ニ鹽稅ヲ追加シタリ

勅令第三百三十五號 (明治三十八年四月十四日)

間接國稅犯則者處分法施行規則中左ノ通改正ス

第一條中第十號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

十一 鹽稅

法施行ノ際ニ於ケル鹽稅ノ徵收又ハ鹽ノ收納ニ關シ執行官廳ニ於テ其ノ取扱ヲ異ニスルカ如キコトナカラシムル爲メ稅務監督局長及鹽務局長ニ對シ左ノ事項ヲ通牒シタリ

一 販賣者ノ所有スル鹽ニシテ製造者カ所持スルモノ及製造者ノ所有スル鹽ニシテ販賣者カ所持スルモノ竝消費者ニ賣渡スモ引取未濟ノ爲メ販賣者ノ所持スル鹽ニハ課稅スルコト

二 前項ニ該當セスシテ製造者カ所有又ハ所持スル鹽ハ之ヲ收納スルコト故ニ消費者ニ賣渡スモ引取未濟ノ爲メ製鹽者カ所持スル鹽ハ收納スルコト

三 甲販賣者ノ所有鹽ヲ乙販賣者カ委託ヲ受ケテ販賣ヲ爲ストキハ乙ニ對シテ課稅スルコト

四 販賣者間ニ於テ賣買契約濟ニシテ運搬中ニ在ル鹽ハ買受人ヨリ其ノ到著豫定地ノ稅務署ニ申告納稅スルコト

五 製造者カ他ノ市場ニ於テ販賣ノ爲メ運送中ニ在ル鹽ハ其ノ到著豫定地ニ到達シタルトキ之ヲ收納シ原產地ノ賠償價格ヲ適用スルコト但シ此ノ場合ニ於テモ事實之ヲ倉庫ニ收容セス成ルヘク即時其ノ製造者ヲシテ買取ラシムルコト尤モ製造者之ヲ肯ンセス又ハ其ノ他ニ買受人ナキトキハ萬已ムヲ得ス臨民間倉庫ヲ借入レ一時收容スルコト

六 鹽消費者トハ自ラ鹽ヲ消費シ終ルヘキ者ヲ指示スル義ナルヲ以テ當初消費ノ目的ナリトテ課稅ヲ受ケサリシ者カ目的ヲ變更シテ他ニ讓渡スルカ如キハ之ヲ認ムヘカラス從テ若シ他ニ讓渡スルニ於テハ納稅期ハ前ニ在リテハ法第四十四條第二項ニ依リ課稅スヘク又其ノ納稅期ハ後ニ於テハ法第五條ニ依リ販賣ハ勿論所有所持ヲモ爲シ能ハサルコト

七 商品取引所ニ於テ五月三十一日以前五月限ヲ以テ賣買取引ノ契約ヲ爲シタル鹽ハ現品ノ
 検査ニ付テハ越テ翌月ニ至リ之ヲ執行シ其ノ過不足ヲ精算スルヲ慣例トス然レトモ現品
 ノ引渡及其ノ代金支拂ハ五月末日即チ受渡期日ニ於テ之ヲ履行シ賣買取引ハ其ノ際完全
 ニ成立スルモノト認ムヘキヲ以テ此ノ場合ニ於ケル鹽稅ハ買主ニ於テ負擔スヘキモノナ
 ルコト

八 法施行ノ際消費者ノ所有ニ係ル鹽ハ強制執行ノ目的物ト爲スヲ得ヘク右ノ鹽ニ對シテハ
 全ク鹽專賣法第五條ヲ適用セサルコト

鹽稅徵收ノ爲メ明治三十八年度歲入科目表中ニ鹽稅ノ項目ヲ追加シタリ

大藏省訓令第三十六號 (明治三十八年四月十五日)

本年一月大藏省訓令第七號明治三十八年度大藏省所管歲入科目表歲入經常部第一款租稅中ニ
 第十七款鹽稅第一目鹽稅ノ項目ヲ追加ス

右規程ニ依リ査定シタル持越鹽ノ數量及稅額ハ明治三十八年度分ニ於テ左ノ如シ尤モ其ノ後ニ
 至リ自家用ノ持越鹽ヲ販賣用ニ變更シタルモノアリ又犯則ニ係ルモノアリテ鹽稅ノ徵收ヲ爲シ
 タルモノアリシモ僅少ナリキ

査定人員

三五、六五八人
外犯則ニ係ルモノ一二

査定數量

三七、〇二四、〇一〇斤
外同二四六五一

稅額

四八一、三一五、一一五圓
外同一九〇、四六〇

犯則者處分ニ關スル規程

專賣法規ニ依ル犯罪ニ對スル犯則者處分手續ハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用スルコトト爲シタ
 ルヲ以テ其ノ施行細則モ亦之ヲ準用スルコトトナシ同處分法中收稅官吏ニ屬スル職務ヲ行フヘ
 キ官吏ハ鹽務官吏及收稅官吏稅關官吏粗製樟腦及樟腦油專賣官吏、煙草專賣官吏及警察官吏ト爲
 シ同法中稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ鹽稅ノ犯罪ニ關スル場合ハ當然稅務署長之ヲ

行フヘク其ノ他ハ鹽務局長又ハ鹽務局出張所長ト爲シタリ
大藏省令第二十四號 (明治三十八年四月十四日)

明治三十八年法律第十一號鹽專賣法第三十八條ノ施行ニ付テハ明治三十三年勅令第五十二號
間接國稅犯則者處分法施行規則ノ規定ヲ準用ス

勅令第三百三十六號 (明治三十八年四月十四日)

鹽專賣法第三十八條第二項ニ依リ間接國稅犯則者處分法中收稅官吏ニ屬スル職務ヲ行フヘキ
官吏ハ鹽務官吏、收稅官吏、稅關官吏、粗製樟腦、樟腦油若ハ煙草專賣ニ從事スル官吏又ハ警察官吏
トシ稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ鹽稅ノ犯罪ニ關スル場合ヲ除クノ外鹽務局長又
ハ鹽務局出張所長トス

法施行上取扱方心得

諸般ノ規程漸ク成リ法施行ノ準備歩ヲ進メ施行期日漸ク切迫セシヲ以テ各鹽務局長ニ對シ法施
行上ニ關スル取扱方ニ付左ノ通内訓シタリ

大藏大臣内訓臨第一八六五號 (明治三十八年五月十日)

鹽專賣法施行上取扱方別紙ノ通心得ヘシ

右内訓ス

鹽專賣法施行上取扱方心得

第一條 鹽製造者ニ對シ製鹽場、貯藏場等ノ圖面ヲ提出セシムルハ大製造場ニシテ當該官吏容
易ニ其ノ内部ノ狀況ヲ知悉スルコト能ハサル如キ場合ニ於テノミ之カ提出ヲ命スヘシ

第二條 鹽製造者ヲシテ製造用器具器械ノ目錄ヲ提出セシムルハ主トシテ其ノ生産力ヲ知ル
ニ在ルヲ以テ普通ノ場合ニ在リテハ製造上主要ノモノ即温メ釜及結晶釜ノ大サ及個數位ニ

止メ置クヘシ

第三條 鹽ノ産額ハ從來需要ノ程度ニ依リ自ラ制限アリシト雖專賣法施行後ニ於テハ其生産額ヲ制限セサル限リハ無限ニ之ヲ製造スルコトナキヲ保セス故ニ新ニ鹽田ヲ作り又ハ鹽田ヲ復舊シテ其ノ製造ニ著手シ之カ爲各地方ニ於ケル從來ノ生産額ニ對シ著シク増加ヲ來ス如キ場合ニ在リテハ製造許可ニ先テ其旨ヲ具申シ指揮ヲ請フヘシ

第四條 鹽ノ製造期間又ハ生産高ヲ制限スルハ全國ニ於ケル鹽ノ需要供給ノ状態ヲ調査シテ後其ノ決定ヲ爲スヘキモノナルヲ以テ制限ノ必要ヲ認メタルトキハ豫メ具申シ其指揮ヲ得テ之カ決定通知ヲ爲スヘシ

第五條 施行細則ニ依レハ鹽ノ包裝及一包裝ノ鹽數量ハ鹽務局長之ヲ定ムトアルモ同一地方ニシテ鹽務局所轄區域ノ異ナルカ爲其ノ包裝及數量ヲ異ニスルハ不可ナルヲ以テ之カ決定又ハ變更ニ際シテハ豫メ具申シテ指揮ヲ請フヘシ

第六條 鹽ノ包裝ニ其ノ産地名ヲ記載スルノ慣習アル地方ニ在リテハ製鹽者及需要者ノ利便ノ爲納付者ヲシテ其ノ包裝ニ適宜産地名ヲ記載セシムルモ妨ナシ

第七條 收納鹽ヲ長ク倉庫ニ貯藏スルハ金利ヲ損シ數量ヲ減シ竝ニ藏間ヲ來ス等其ノ不利多キヲ以テ勉メテ速ニ之ヲ賣渡スヲ要ス從テ成ルヘク其ノ地方ニ於テ從來鹽ノ販賣ヲ業トセラル大商人ニ談示シ鹽務局ノ通知アルトキハ何時ニテモ買受ヲ承諾スル様注意スヘシ

第八條 賣渡シタル鹽ヲ長ク保管スルハ之ニ對スル危險ノ防備ヲ要スルノミナラス納付鹽ノ貯藏倉庫ニ差支ヲ來スヘキヲ以テ法定ノ引取期間内ト雖成ルヘク速ニ之ヲ引取ラシムル様注意スヘシ

第九條 鹽專賣ニ伴ヒ其ノ品質ノ改良ヲ獎勵スヘキハ勿論ナリト雖同時ニ其ノ賣捌方ヲ注意

セサルヘカラス殊ニ專賣法施行後ニ於テハ鹽價騰貴ノ爲比較的安價ナル下等品ノ需要多クシテ上等品ハ常ニ倉庫ニ堆積スルノ傾向ナキヲ保セス故ニ上等鹽ノ販路ヲ調査シ其ノ效用ヲ研究シ以テ其ノ買受ヲ勧誘スル等便宜ノ方法ヲ講シ常ニ賣行ノ敏活ナルコトヲ期スルヲ要ス

第十條 回送ノ爲メ鹽ヲ運搬スルトキハ其ノ數量ヲ減耗スルノミナラス各需要地ニ適宜配合セシムルハ寧ロ民間ニ委スルヲ利ナリト認ムルヲ以テ藏閩等已ムヲ得サル場合ノ外ハ鹽ノ回送ヲ爲ササルモノトス

第十一條 鹽ノ收納賣渡ニ際シ其ノ數量ニ付テハ斤位未滿其ノ價額ニ付テハ錢位未滿ヲ切り捨テ其ノ計算記帳等ニ付キ官民相互ノ手數ヲ省略スヘシ但シ單位トスヘキモノニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 鹽ノ賠償金ハ成ルヘク即時納付者ニ交付スル様注意スヘシ

第十三條 鹽賣渡代金延納又ハ特別定價賣渡ノ擔保トシテ確實ト認ムヘキ有價證券ハ國債及地方債證券政府ノ保護又ハ監視ヲ受クル株式會社ノ株券又ハ債券ヲ標準トスヘシ

第十四條 鹽製造者ヲシテ其ノ採取シタル鹹水ノ比重ヲ帳簿ニ記載セシムルハ監視上固ヨリ必要ノ事項ナリト雖從來其ノ慣例ナキ地方等ニ在リテハ急ニ之ヲ強制セス漸次之ヲ遵守セシムルノ方針ヲ取ルヘシ

第十五條 鹽販賣業者ハ一定ノ事項ヲ帳簿ニ記載スヘキ義務アルモ行商人等ニ對シテハ必シモ之ヲ勵行セサルコトニ注意スヘシ

第十六條 鹽ノ納付又ハ引取時刻ハ潮ノ干滿ニ關係スルコト多キヲ以テ都合ニ依リテハ普通執務時間外ト雖尙收納賣渡ヲ爲シ納付者又ハ買受人ヲシテ甚シキ不便ヲ感セシメサル様注

意スヘシ

第十七條 指定引渡現場賣買ノ場合ニ於テ鹽ノ秤量ハ同一製造人ニ就キ當初一回執行シタルモノト同一ナリト認メラルルトキハ製造人及買受人ニ於テ異議ナキ限り必シモ毎回其ノ實量ヲ計量セサルモ妨ナシ

第十八條 鹽ノ品質鑑定上可檢鹽ノ採取ニ付テハ左ノ方法ニ據ルヘシ

一 包裝鹽ニ在リテハ拔検査ニ供シタル各包裝鹽ニ付キ鹽差シヲ以テ包裝上面中央ヨリ下面中央ニ拔通シテ其ノ一部ヲ採リ更ニ側面中央ヨリ他ノ側面中央ニ拔通シテ其ノ一部ヲ採リ能ク之ヲ混合シテ鑑定スヘシ

二 撒鹽ニ在リテハ其ノ容器ノ數ニ依リ包裝鹽ト同割合ヲ以テ一定ノ數量ヲ拔検査ニ供シ各容器ノ上下兩層ヨリ適宜ノ分量ヲ採リ能ク之ヲ混合シテ鑑定スヘシ

第十九條 鹽ノ品質鑑定ニ付テハ當分民間ノ實地經驗アル者ヲ採用シテ之ヲ補助セシムルコトヲ妨ケス

第二十條 鹽ノ賠償價格告示中特別優等鹽トハ鹽化曹達九十五以上ヲ含有シ色澤純白ニシテ能ク乾燥シ汚物ヲ含マサルモノヲ謂ヒ施行細則第十八條但書ヲ適用スヘキ劣等鹽トハ通俗鼠鹽、コーラ、葡萄鹽、泥鹽等ト稱スルモノヲ謂フ

第二十一條 鑑定上使用スヘキ比準標本鹽ハ成ルヘク其ノ地方ニ產出スルモノヲ適當トスルニ依リ各局管内ニ產出スル鹽ヲ以テ各等級ノ比準標本鹽ヲ作成シ置クヘシ

第二十二條 鹽製造者ニ對シテハ便宜五等標本鹽ヲ示シ又ハ其ノ他適宜ノ方法ヲ以テ成ルヘク五等以下ノ鹽ヲ製造セサル様勸告スヘシ殊ニ專賣法施行ノ當初ニ在リテハ從來製造シ來レルモノニ對シ格外ノモノヲ除クノ外適宜ノ裁量ヲ以テ成ルヘク不合格品トシテ拒否セサ

ル様注意スヘシ

第二十三條 鹽專賣法ハ收入ヲ目的トスルト同時ニ鹽業ノ改良ヲ企圖スルモノナルニ依リ平素現行製鹽業ノ缺點竝ニ其ノ改良ノ要點ヲ調査シ時々本省ニ申報スヘシ

第二一項 庶務ニ關スル規程

收入

鹽務局諸收入收納取扱規程ヲ定メ左ノ如ク訓令シタリ

大藏省訓令第三十二號 (明治三十八年四月一日)

鹽務局諸收入收納取扱規程左ノ通相定ム

第一條 鹽務局ニ於テ收納スル諸收入ハ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外此規程ニ依リ取扱フヘシ

第二條 鹽務局長ハ諸收入ヲ徵收セントスルトキハ十五日以内ニ於テ適宜納期日ヲ定メ各納入ニ對シ第一號書式ノ納入告知書ヲ發スヘシ

第三條 鹽務局長ハ其ノ所屬鹽務局出張所長ニ委任シテ諸收入收納事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

第四條 鹽務局出張所長ニ於テ納入告知書ヲ發シ又ハ鹽務官吏ニ於テ口頭告知ヲ爲シタルトキハ鹽務局出張所長又ハ鹽務官吏ハ第二號書式ニ依リ毎日其ノ調定額ヲ鹽務局長ニ報告スヘシ但鹽務局出張所在勤ノ鹽務官吏ノ報告ハ其ノ出張所長ヲ經由スヘシ

第五條 納入告知書ハ納入ヲシテ納金ヲ納付スルトキ之ヲ添附セシムヘシ

第六條 收入官吏ノ提出スル領收濟ノ報告書ハ毎日取纏メ之ヲ鹽務局長ニ送付スヘシ但鹽務